

とある村

まさか桐生院の
当主殿が来られるとは

我が家の者が事に携わ^{たずさ}っておきながら
未だに鬼の討伐に至れないとは

申し開きのしようも
ございませぬ

いえいえ
それよりも鬼狩りの娘さん
の安否が気掛かりで...

無事だと良いんですが...

鬼狩り名門桐生院家当主
桐生院 刹那

村長



これはまた
手厳しいですなあ

あの二人は
実の娘だと言うのに



あの子達もその
覚悟はあったはず

・・・鬼と相対する以上
危険は避けられません



田舎の鬼に遅れをとるなど
桐生院の恥晒し・・・



実の娘だからこそ
許せないのですよ



眠気が...

コッ



?

身体に力が入らない... ?何だ

どうなされました?
当主殿



おっと
大丈夫ですか?

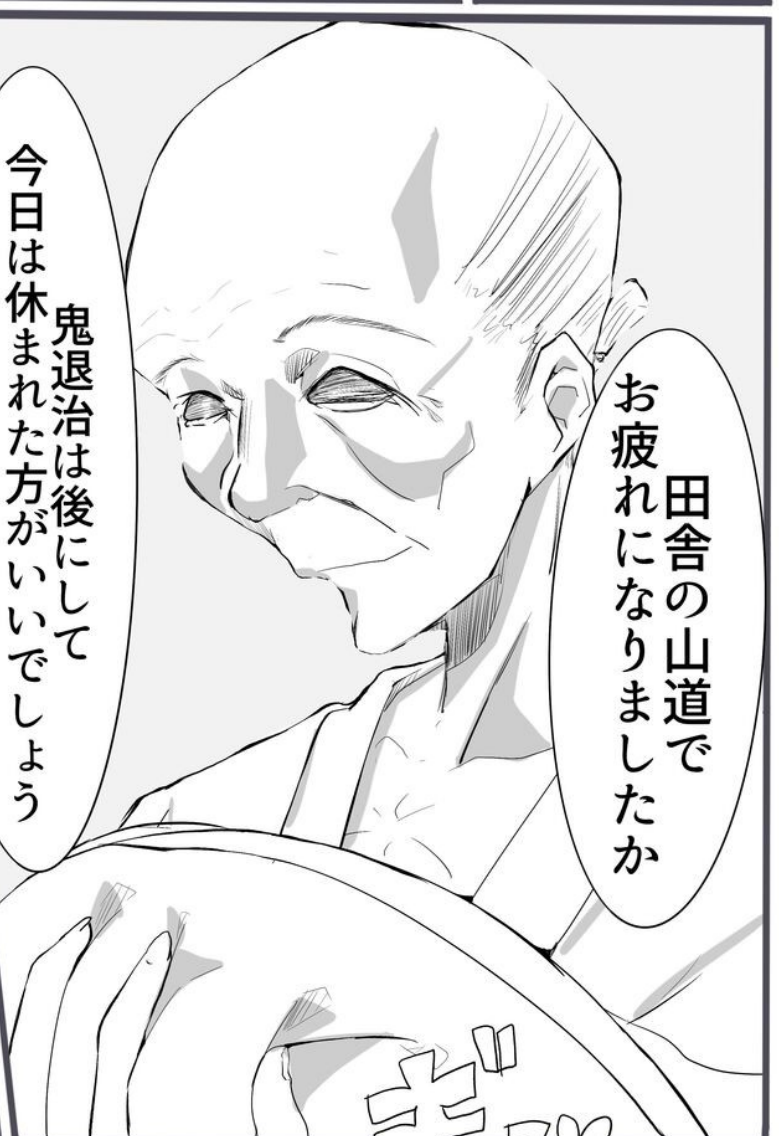
カラ



おやすみ下さい
ゆっくり



直ぐに床を
用意しますゆえ



鬼退治は後にして
今日は休まれた方がいいでしょう

田舎の山道で
お疲れになりましたか

キッ



んっは・・・



んっ・・・



村長・・・

これは一体
どう言う事ですか？



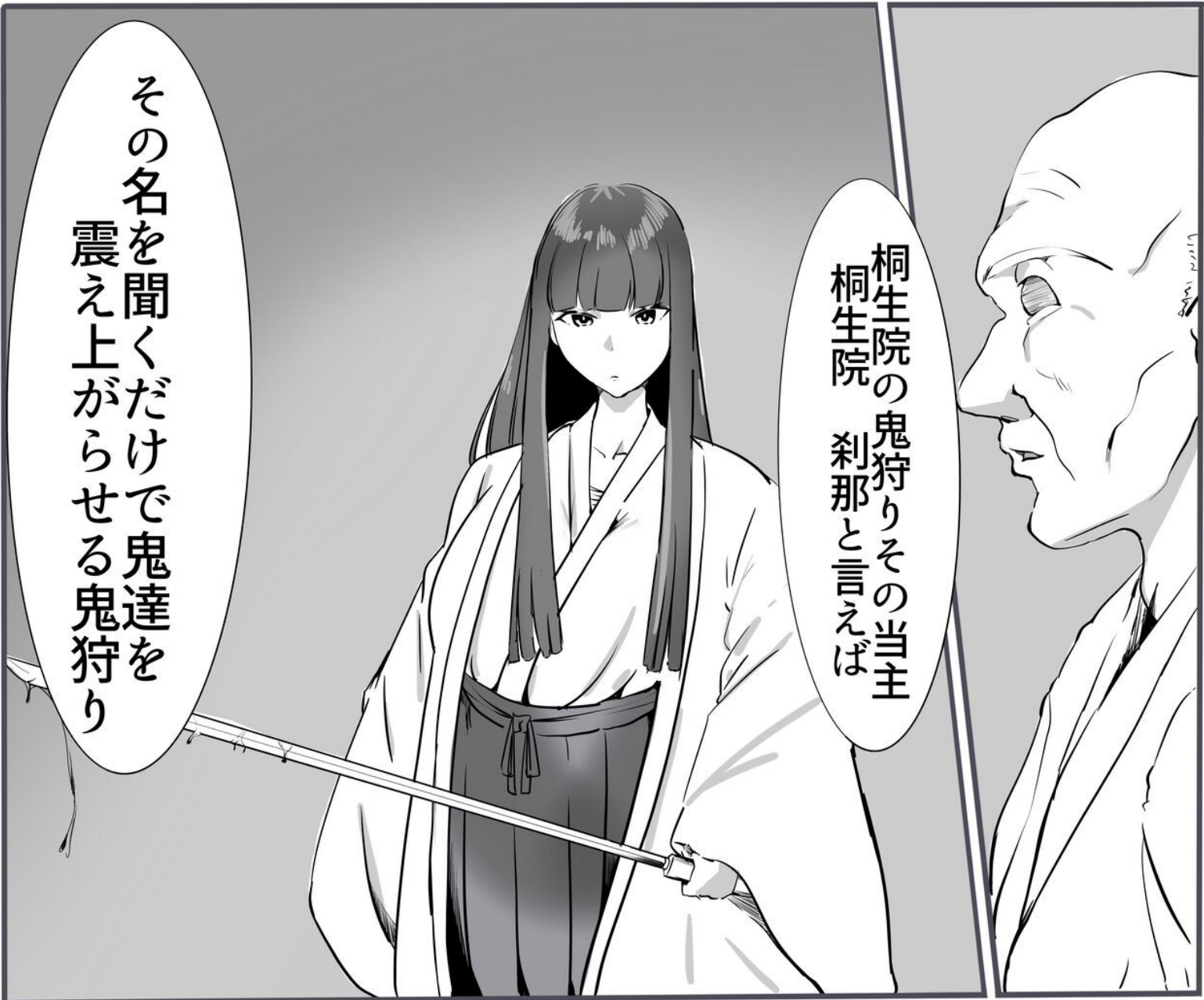
お目覚めですか
当主殿

あの茶に
一服盛られたか・・・

身体に力が
入らない・・・

だが何故・・・



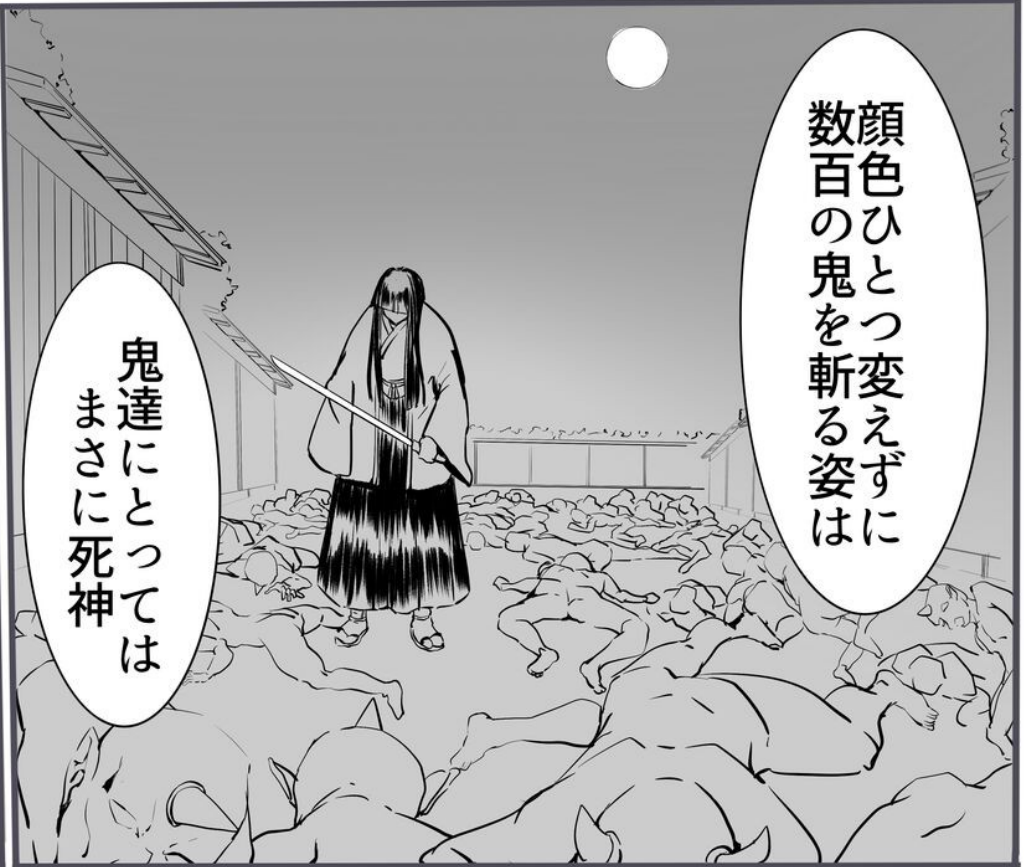


桐生院の鬼狩りその当主
桐生院 刹那と言えは

その名を聞くだけで鬼達を
震え上がらせる鬼狩り



名実ともに
最強の鬼狩りでしょう



顔色ひとつ変えずに
数百の鬼を斬る姿は

鬼達にとっては
まさに死神

流石にそんなお方が
来たんじゃないや

森の鬼達はみんな
斬り殺されちまいます

困るんですよ
せっかく上手くやってんのに

水を差して
もらっちゃ

・・鬼くみに与くみしていたのか

外道め・

人じゃありませんからねえ
・・・そもそも俺は

俺の正体に

気づかなかった
様ですな

!?

メキ
ゴ



なんと面妖な・・・

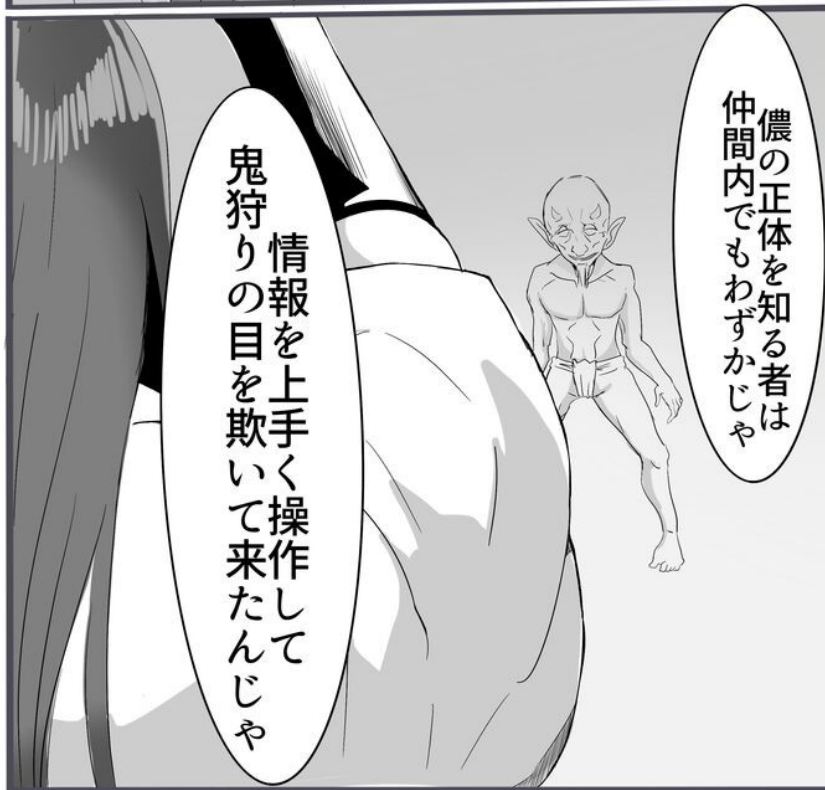
人に化ける鬼とは・・・



俺は老鬼

数百年の時を
生きる鬼よ

老鬼



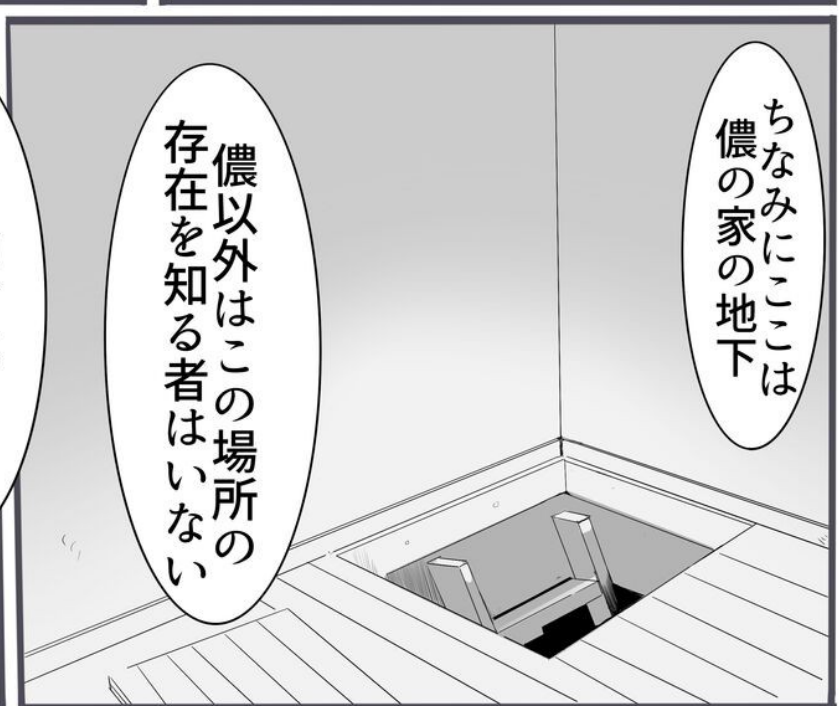
情報を上手く操作して
鬼狩りの目を欺いて来たんじゃないや

俺の正体を知る者は
仲間内でもわずかじゃ



助けは
期待できませんぞ

・・・



ちなみにここは
俺の家の地下

俺以外はこの場所の
存在を知る者はいない



命乞いはせん

とつとつと
殺すがいい



当主殿の様な
良い女を前にして

ただ殺すのは
芸が有りません

...



ほう・・・

流石は当主殿
肝が座って居られる
しかし・・・



素晴らしい
躰をなされている

思った通り



何より男として
これほどの躰を見過ごすなど♡



たつぷりと
味あわせて貰いますよ

当主殿の躰



耳が痛いすなあ

これでも多少は
知恵が回るんだがのう



呆れたものだ

何百年生きようとも
喰って犯す事しか
考えてない

進歩のない事だ

おかげで当主殿を捕らえ

こうして躰を
しゃぶる事が
できるんじゃないから♡

長生きはするものじゃのう♡

チュパ♡

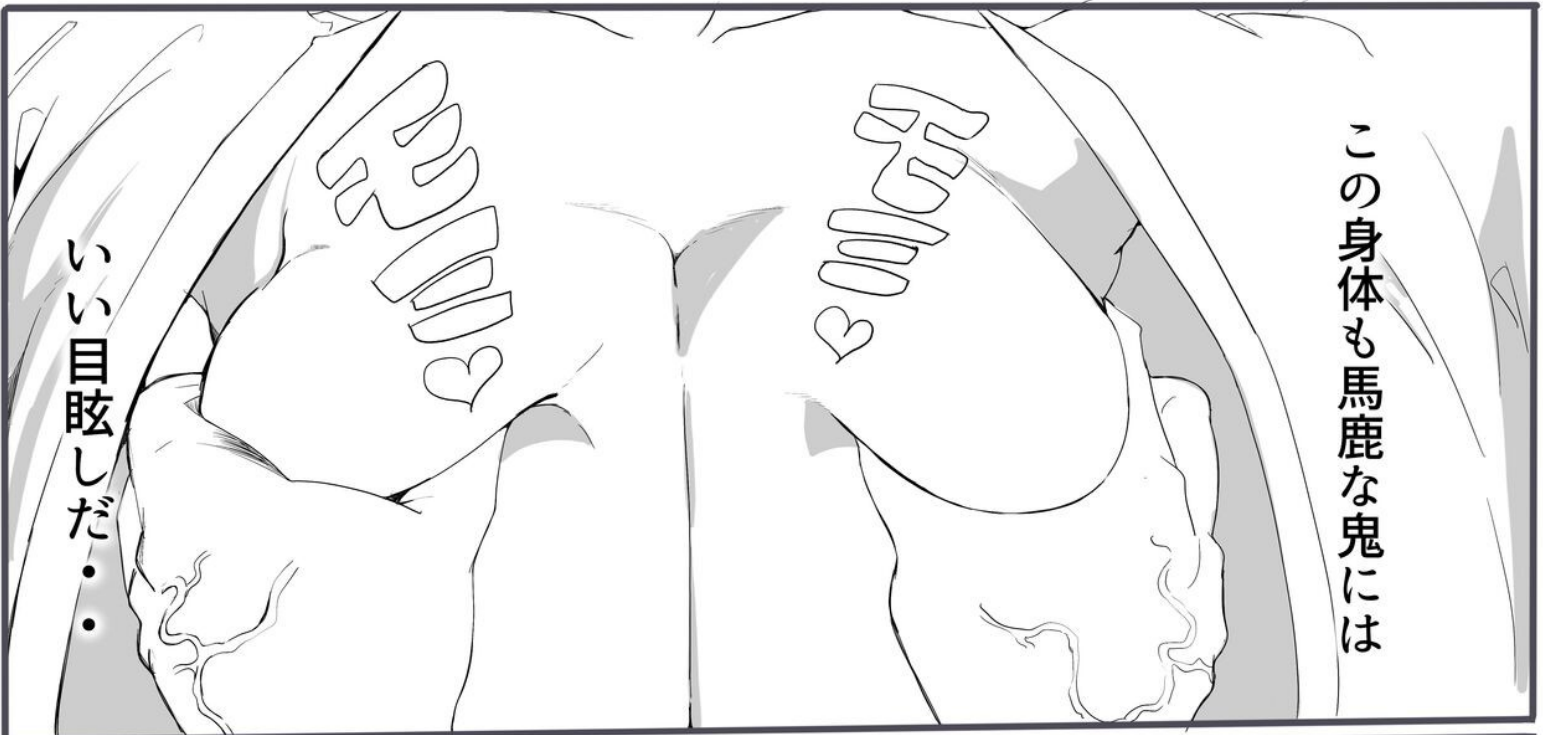
未だ身体は思う様に
動かない

だが直ぐに
殺さないのなら

いずれ薬の効果は切れ
反撃の機会は訪れる

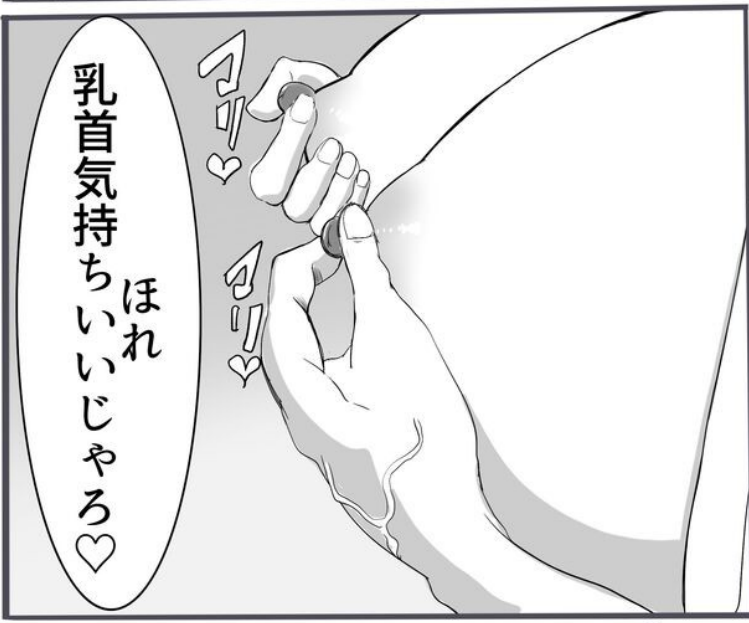
それまでは
遊ばせておけばいい

チュパ♡
チュパ♡



この身体も馬鹿な鬼には

いい目眩しだ・・・



乳首気持ちいいじゃろ♡
ほれ



?何じや

随分と反応が薄いろう



これ程の肉を持ちながら

ほう・・・
それは不憫な話じや



ただ不快なだけだ

残念だが私は肉の悦など
産まれてこのかた
感じたことも無い

当主殿の豊満な胸は
この老ぼれの手には収まり
きれませんなあ

これ程の肉を持ちながら
肉悦を感じれないとは嘆かわしい

よく子を産めた
ものじゃ

ですがご安心ください

この老鬼
女体の事は知り尽くして
おります故

当主殿の堅く閉ざした
躰と心

儂が華開かせて
見せましょう

儂も女は数多く抱いて来ました

その経験から女を
悦に墮とす術も心得ております故

当主殿が今何を考えているの
儂に手にとる様に分かりますぞ

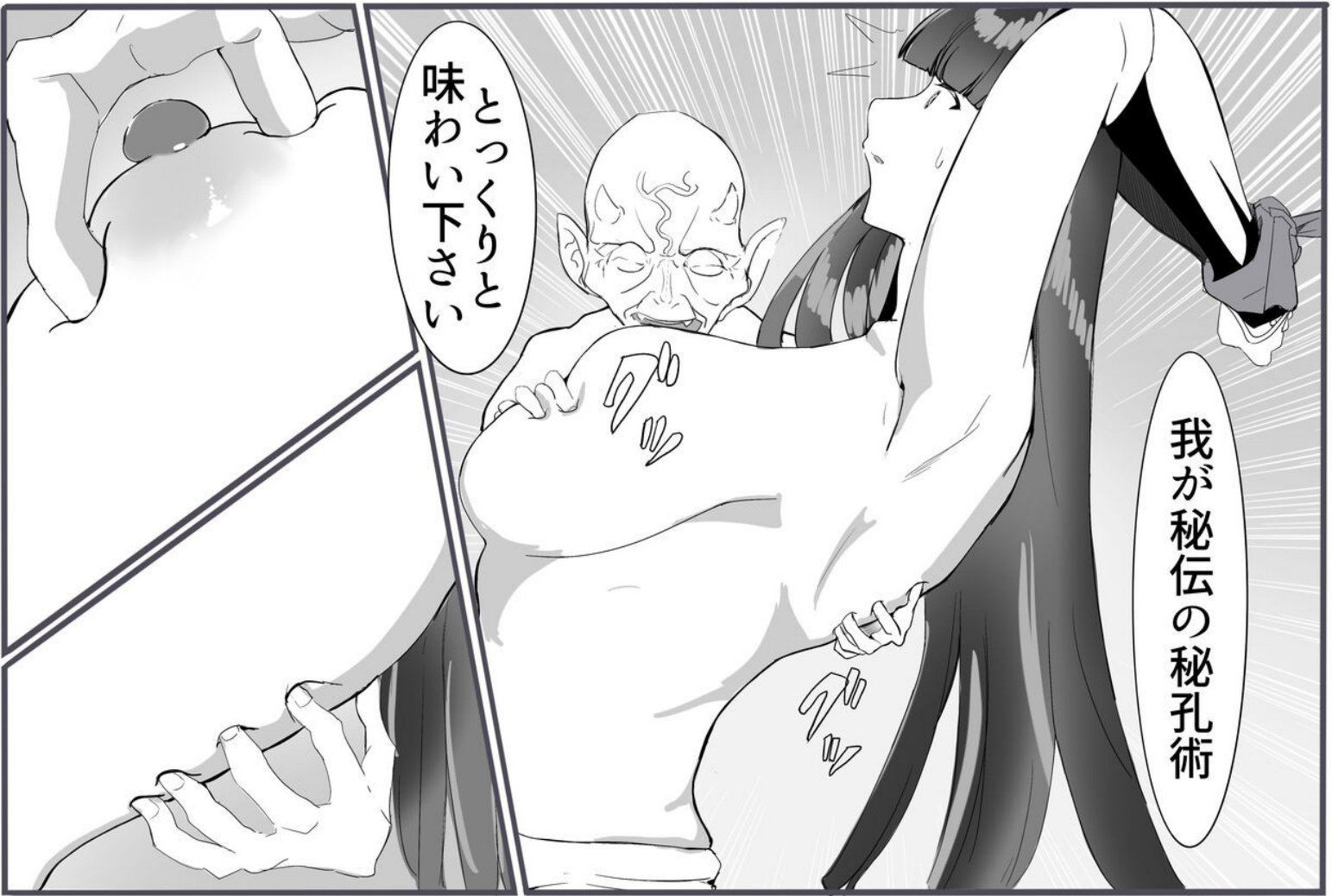
適当に躰で遊ばせて
薬の効果が切れるのを
待っているのでしょうか

躰が動けば
儂の制圧など容易いと

残念ですが
そんな隙は与えませんが

当主殿♡

♡♡
♡♡
♡♡



とっくりと
味わい下さい

我が秘伝の秘孔術



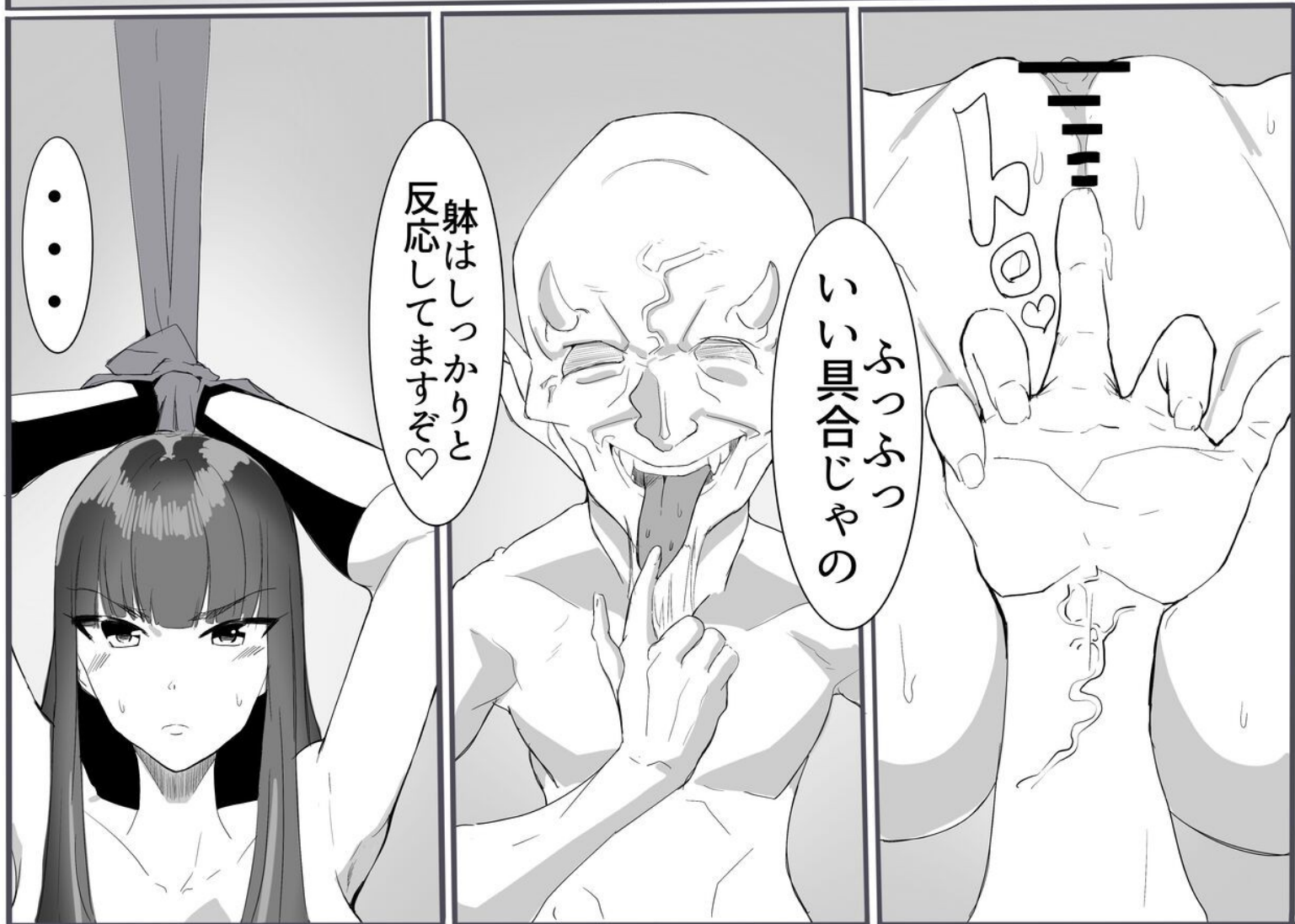
!?

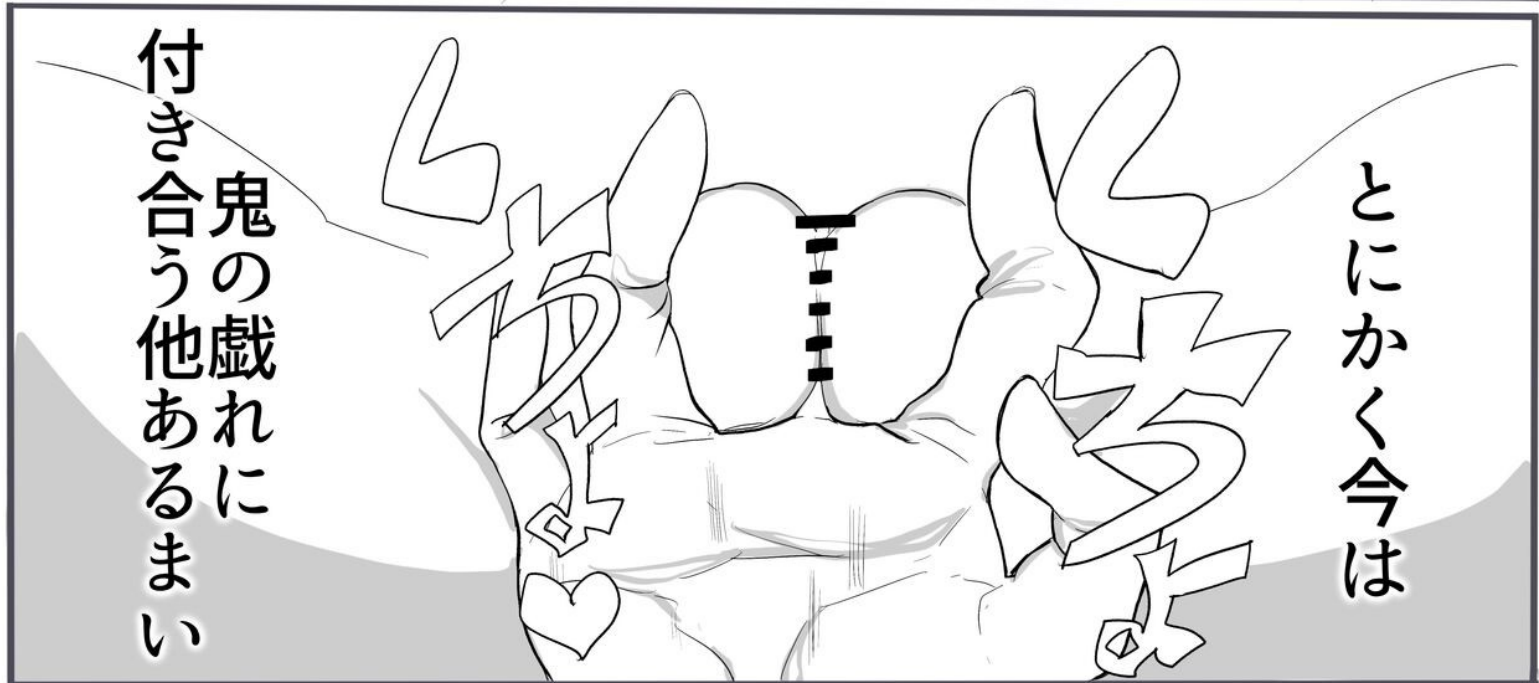
?

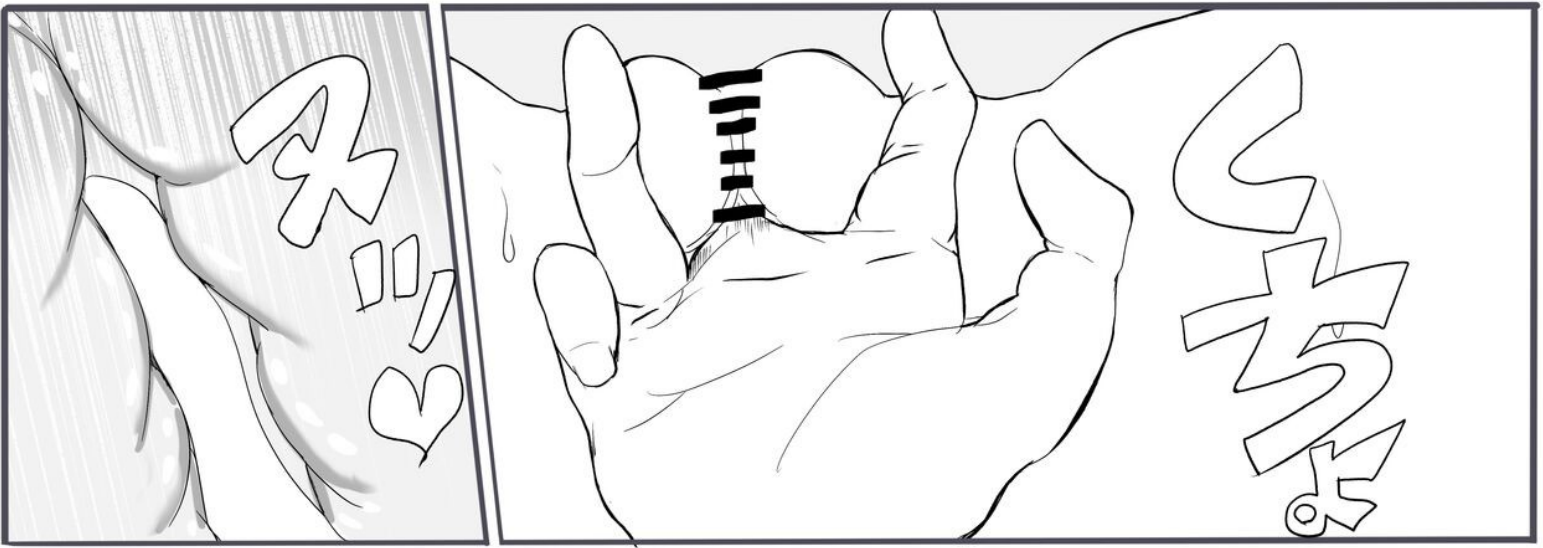


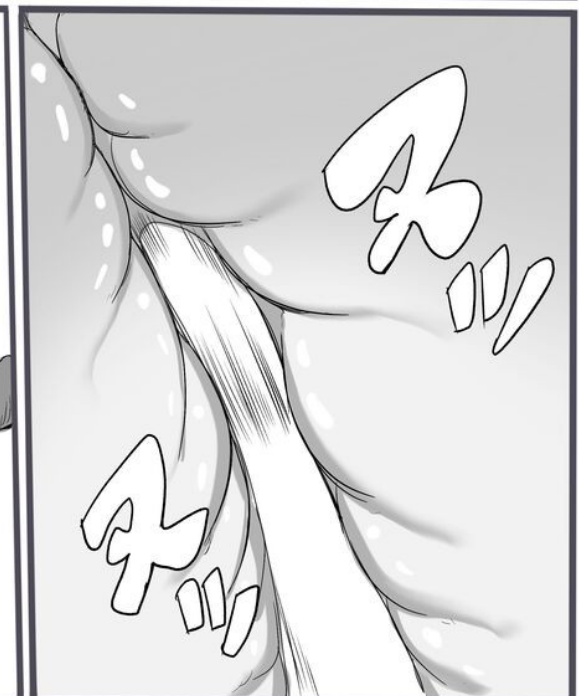
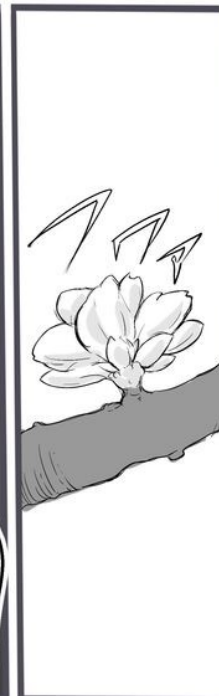
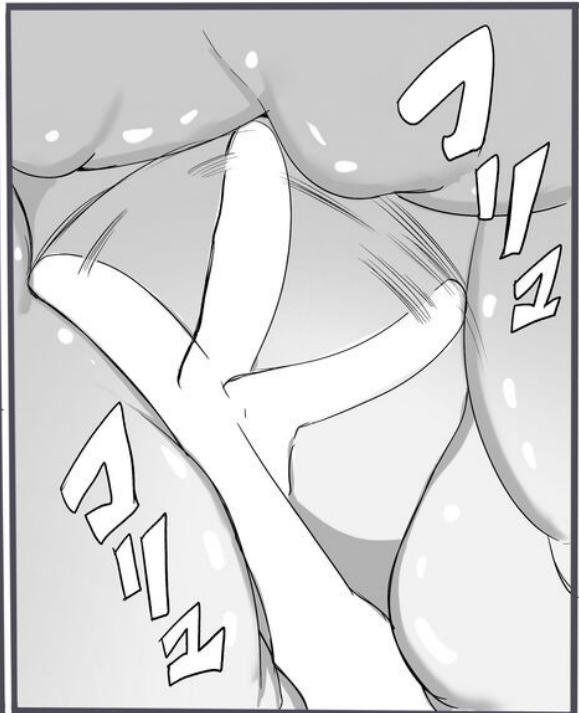
変わりますぞ♡

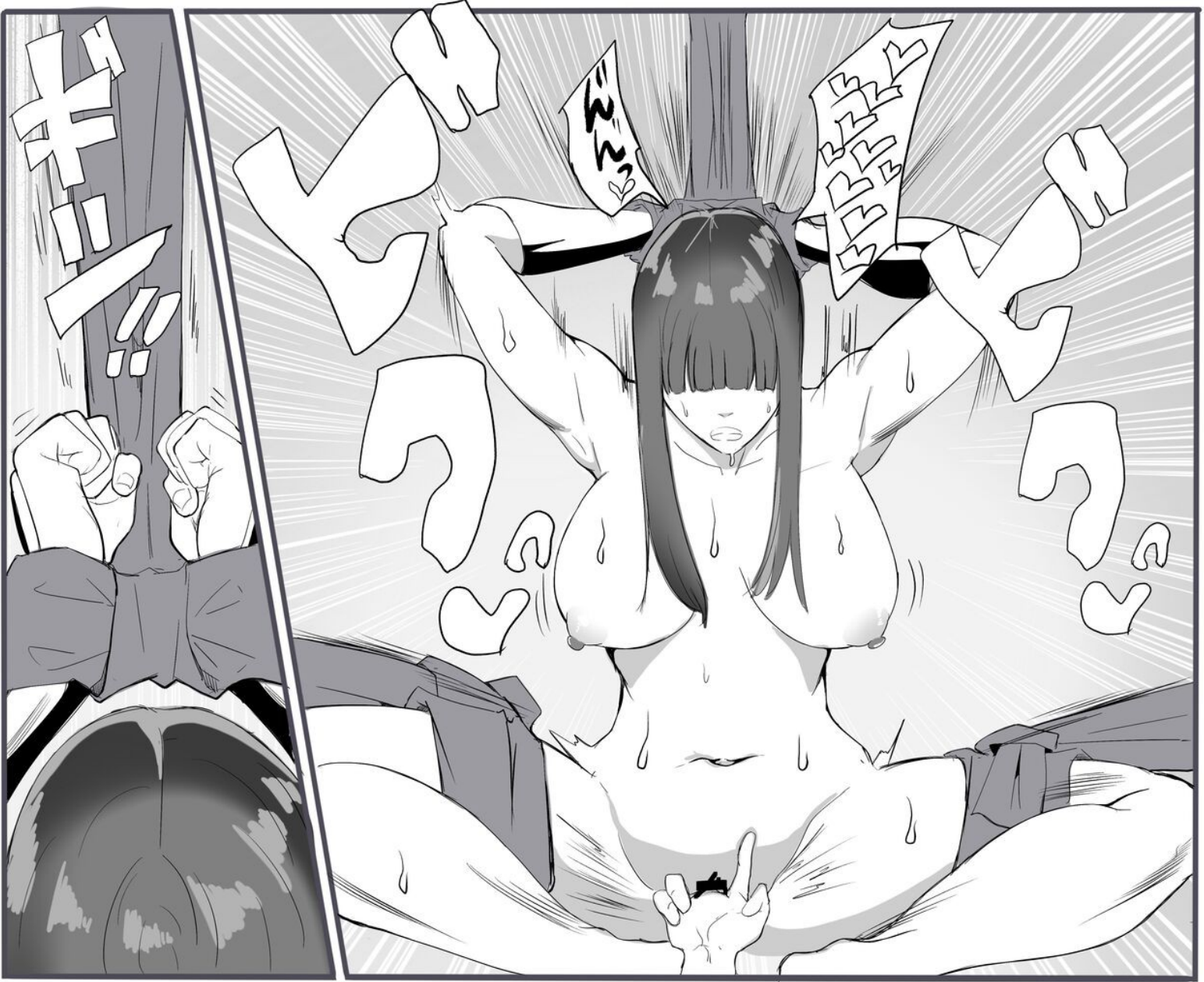
これで当主殿の
世界は











いった様じゃの

どうやら無事に



な、何だこれは？

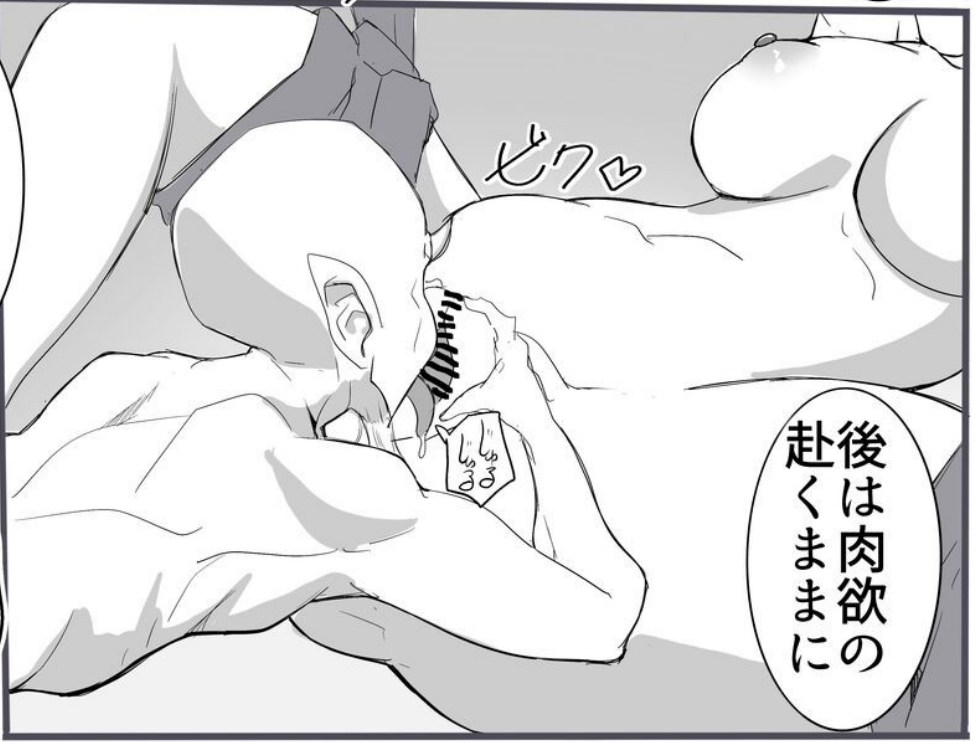
一体何がおきて…

ひあ♡

ひあ♡



どうですか？当主殿
肉の悦とは素晴らしいモノ
で御座いますよう





存分に
わかって頂きましょう



当主殿には
肉悦の素晴らしさを



まあ時間は
たっぷり御座います故



んっ♡

ヌル♡



ほぐして差し上げます



儂の作った特別な
粘液で当主殿のお躰を



ひゅん

さらに秘孔を突く事により
当主殿のお躰は

ひゅん

や、ダメっただ♡

私に触るな・・・♡

あゝ♡

さらなる高みへと
誘う事ができるのです

あゝ♡

んん

んん

んん



さあ我慢する必要は
ありませんよ

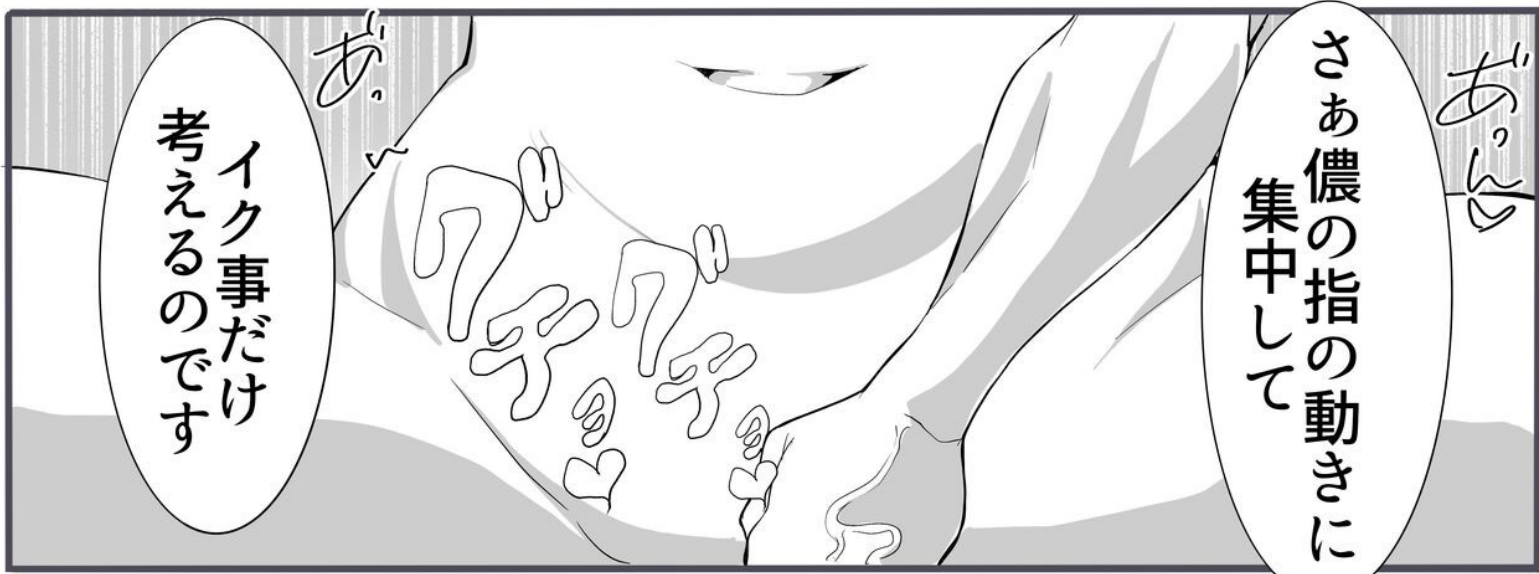
当主殿♡



ま、まずい
またアレが・・・

ひゅん

真っ白になる
アレがくる・・・



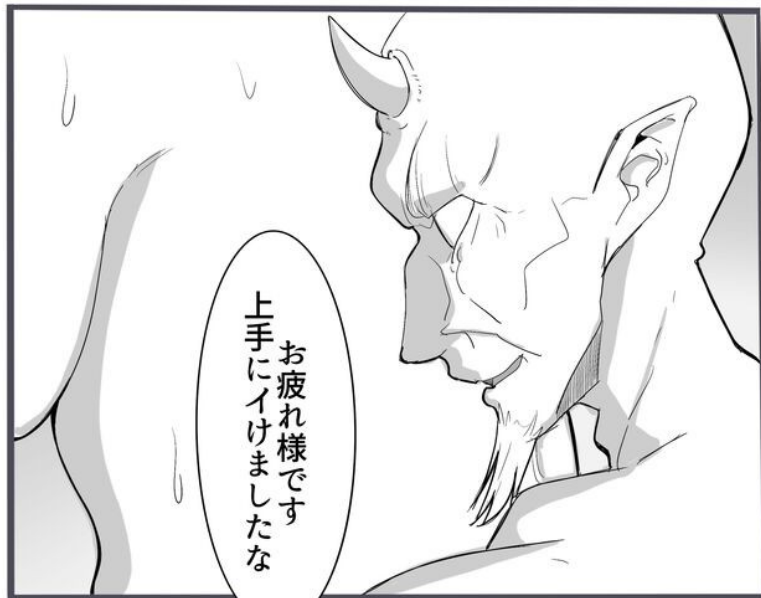
さあ僕の指の動きに
集中して

イク事だけ
考えるのです

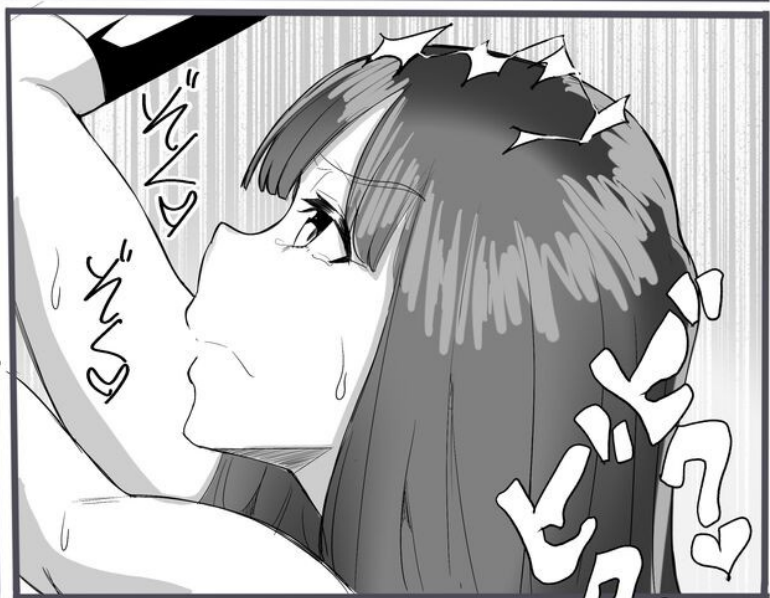


さあ解放するのです

己の内に秘めた
メスを



お疲れ様です
上手にイけましたな





はぁー♡

ふっふっふっ
いい仕上がり具合ですなあ

はぁー♡

はぁー♡

はぁー♡

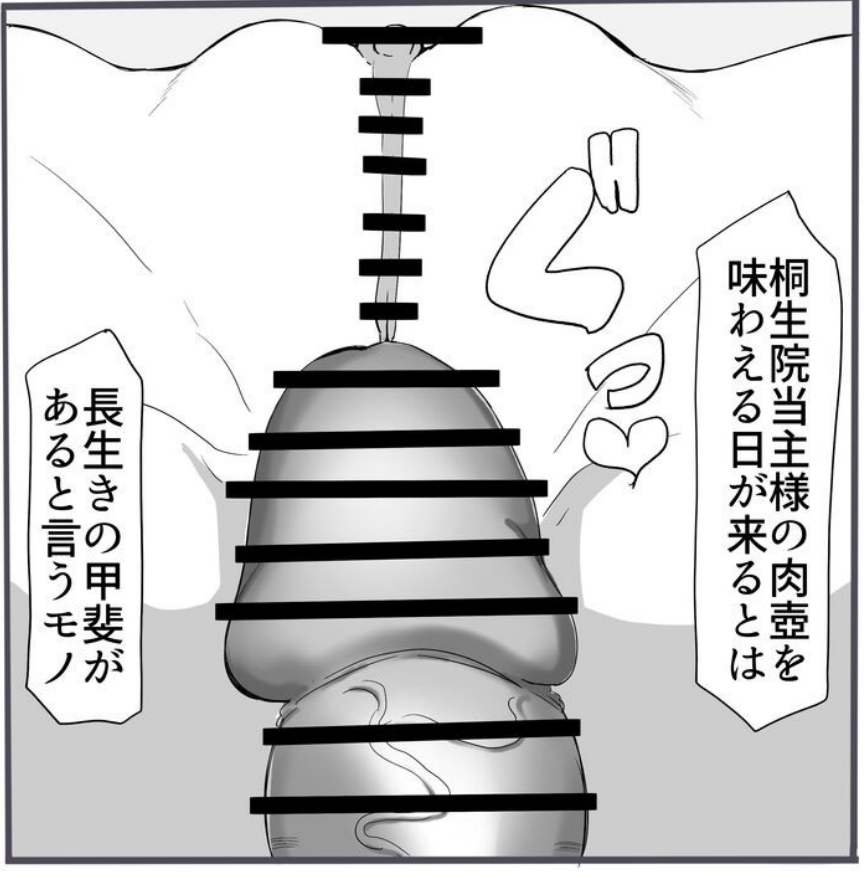
そろそろ
本番と参りましょうか

はぁー♡



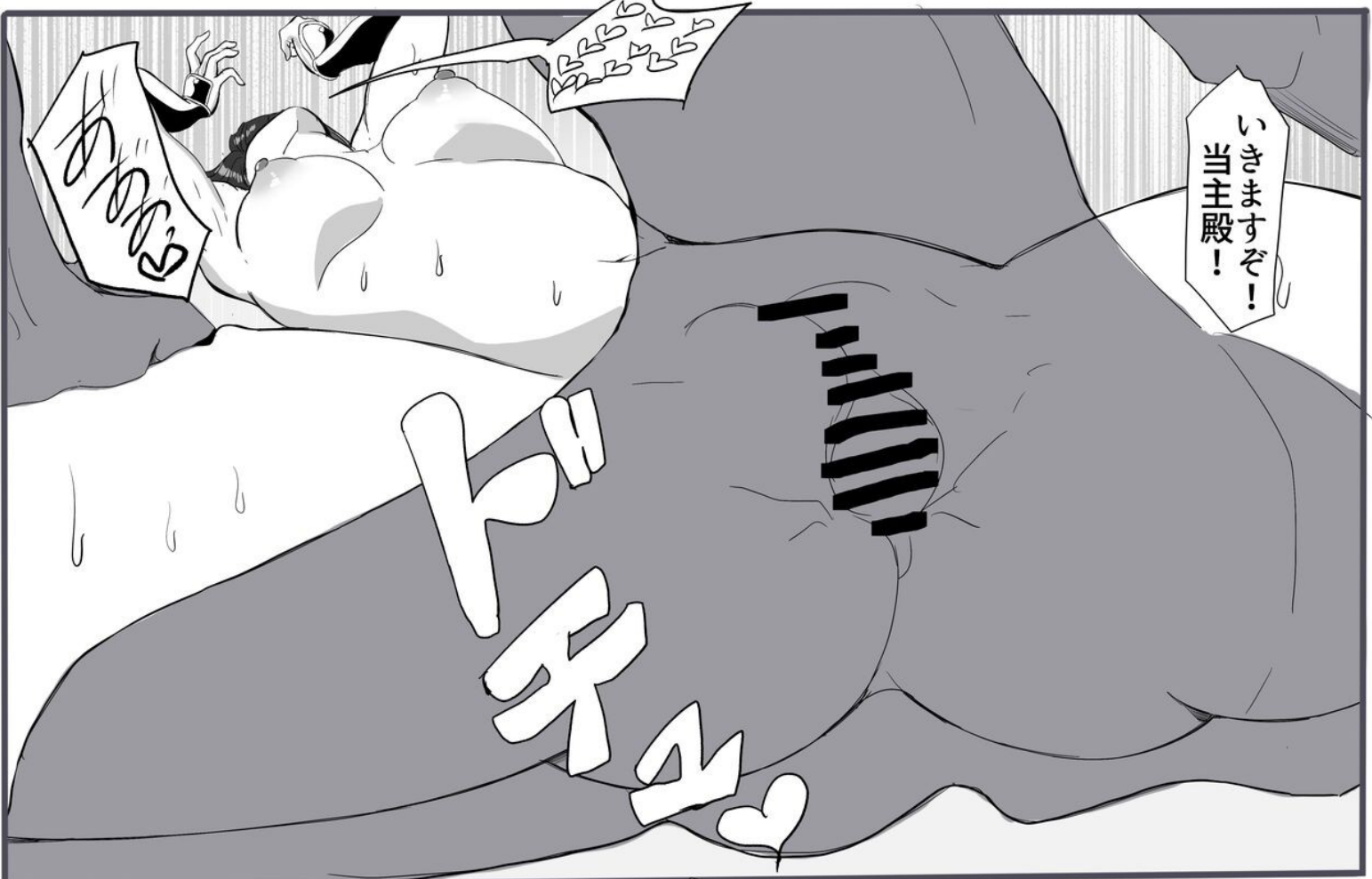
待って！

そんな事されたら
私は・・・



桐生院当主様の肉壺を
味わえる日が来るとは

長生きの甲斐が
あると言うモノ



いきますぞ!
当主殿!

ド
ク
ヌ♡



おおっ!
思った通り

素晴らしい締め付け

ヌ
ク
ヌ



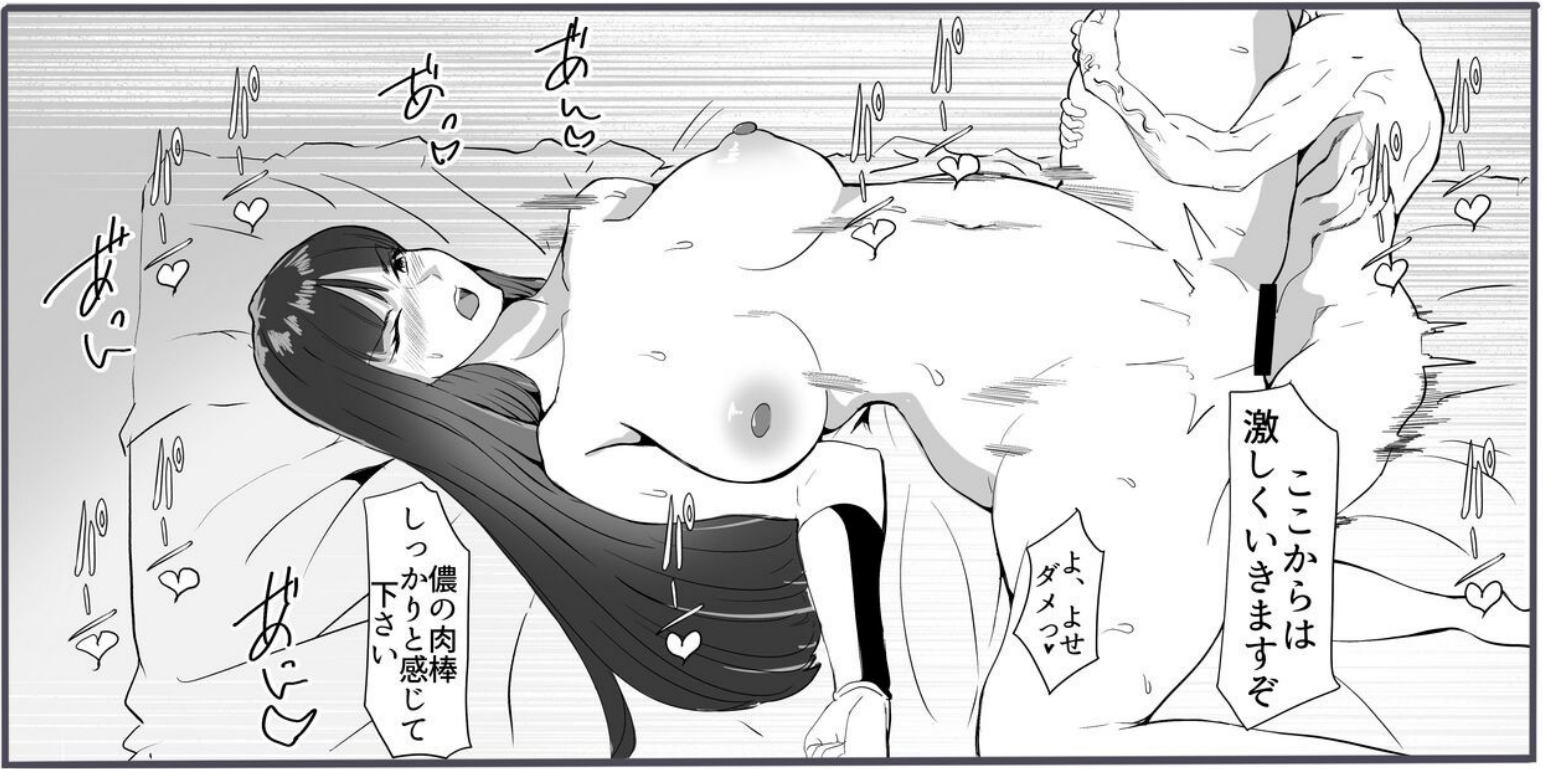
子を産んだとは思えんま○こですな



そんなっ...
侵ってくる...

鬼の肉棒が
私の膣内に

あゝ♡



ここからは
激しくいきますぞ

よ、よせ
ダメっ

儂の肉棒
しっかり感じて
下ろさ

あーっ
あーっ
あーっ



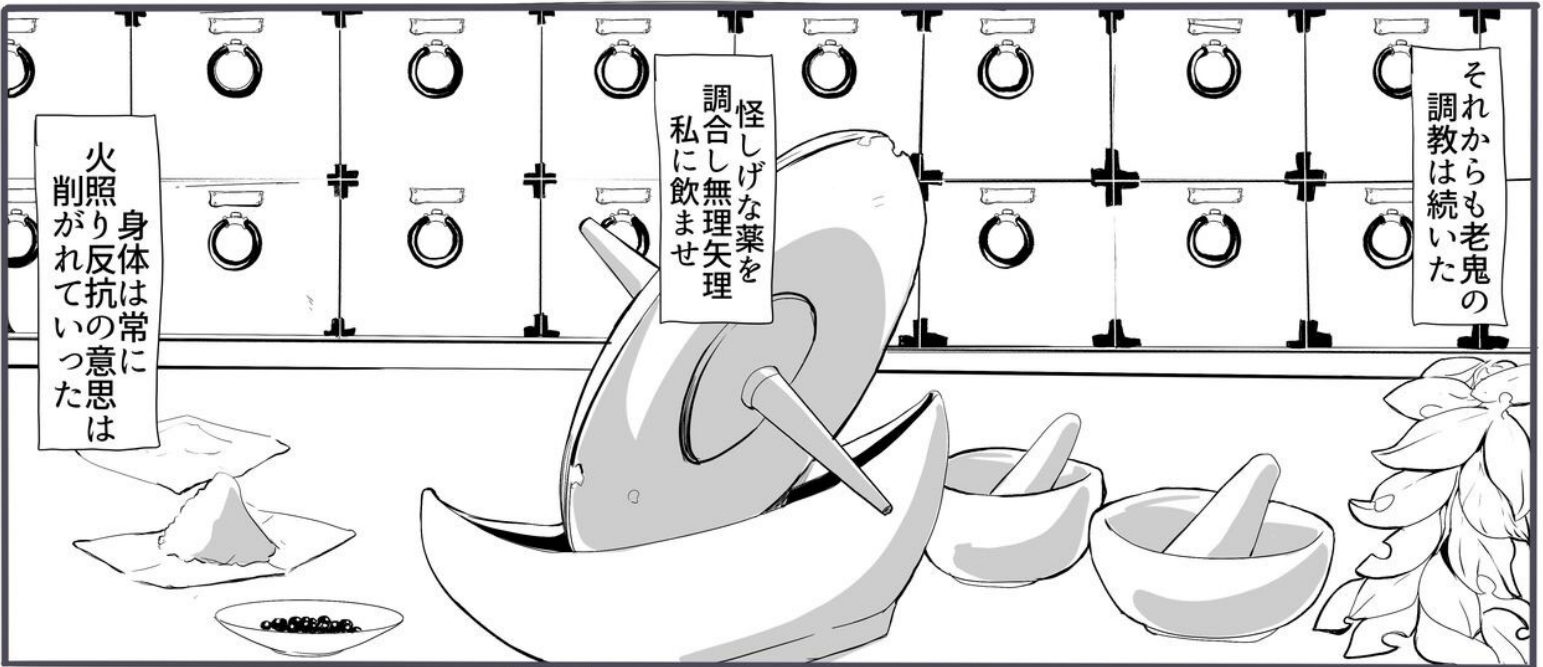
あーっ
あーっ
あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ
あーっ
あーっ

儂も、もう
限界ですじゃ

あーっ
あーっ
あーっ





それからも老鬼の調教は続いた

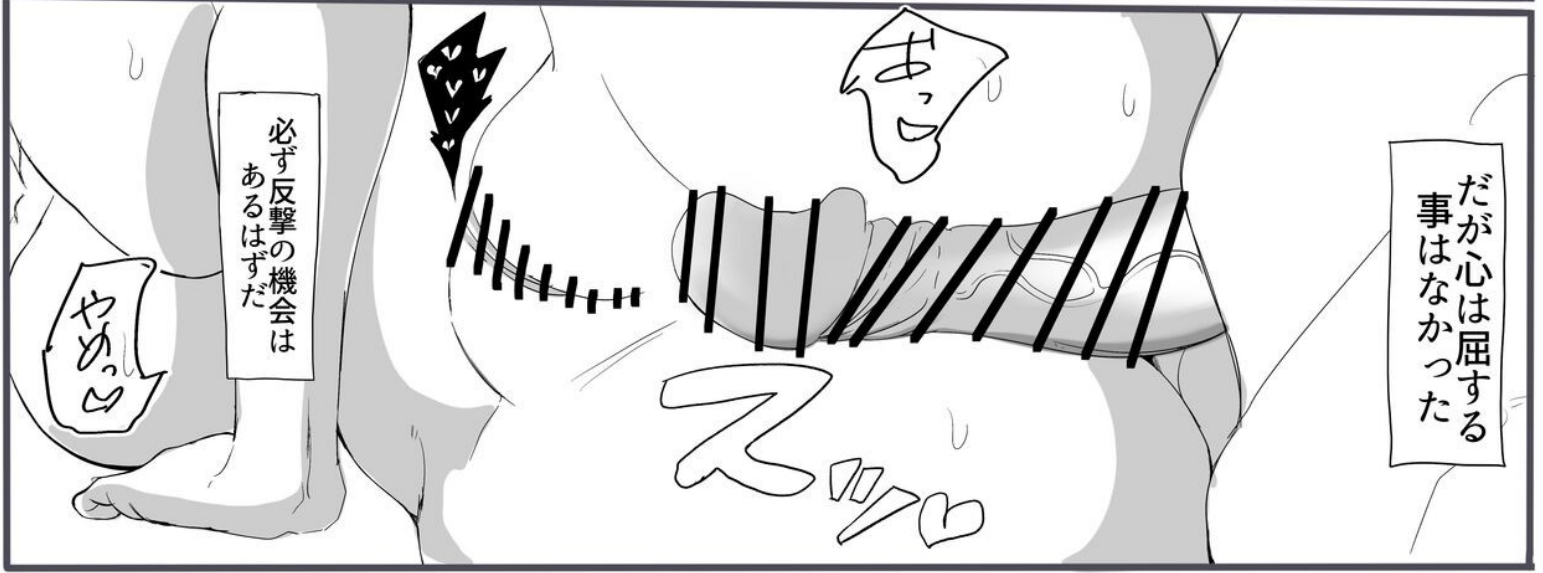
怪しげな薬を調合し無理矢理私に飲ませ

身体は常に火照り反抗の意思は削がれていった



薬のせいだと思わぬ様に身体は動かさず

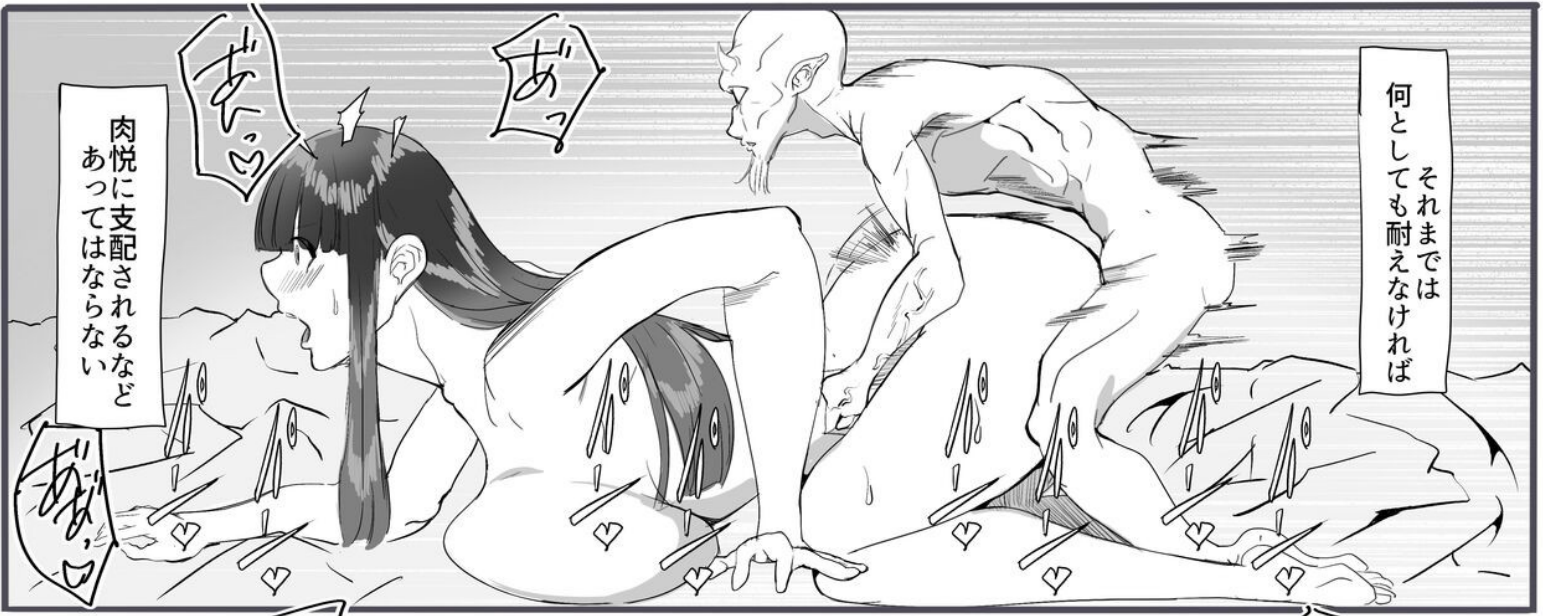
甘美な肉悦で老鬼は私を支配しようとするが



だが心は屈する事はなかった

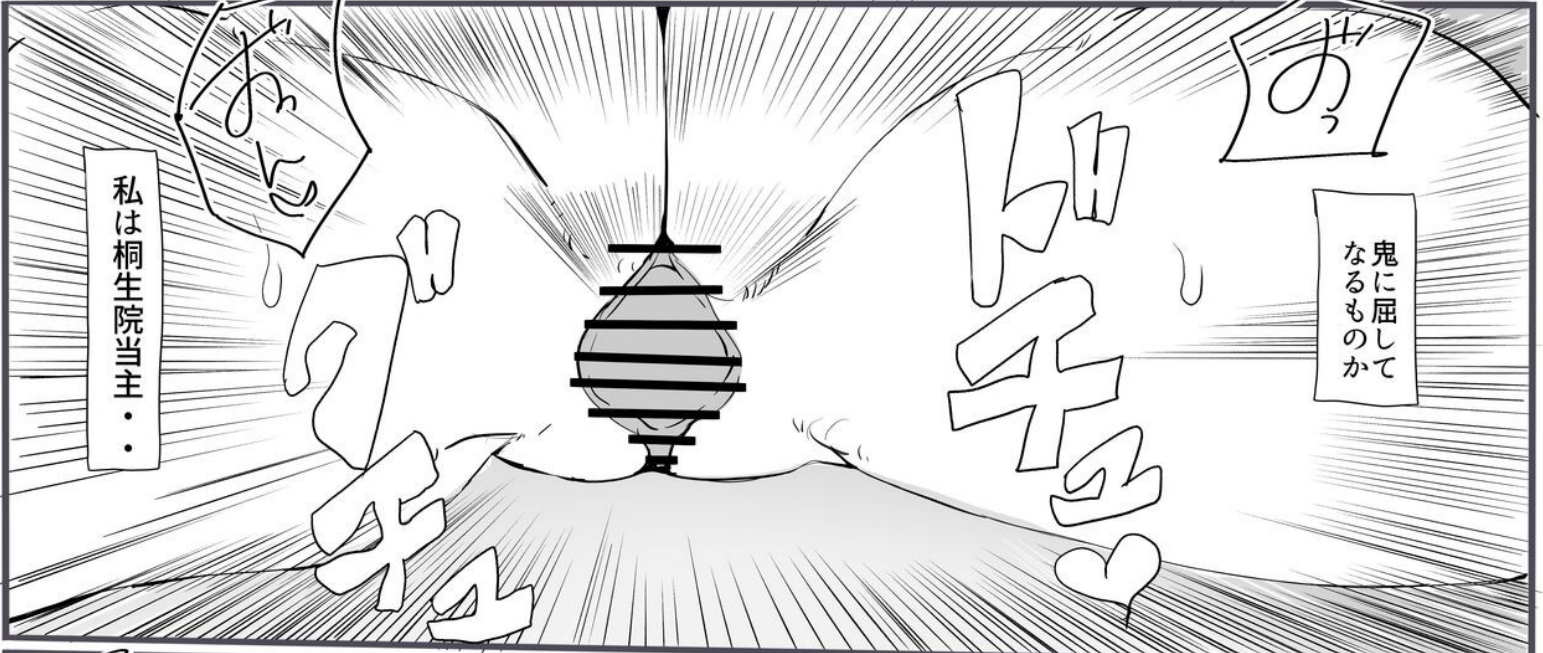
必ず反撃の機会はあるはずだ

やめっ



肉悦に支配されるなど
あつてはならない

それまでは
何としても耐えなければ



私は桐生院当主...

鬼に屈して
なるものか

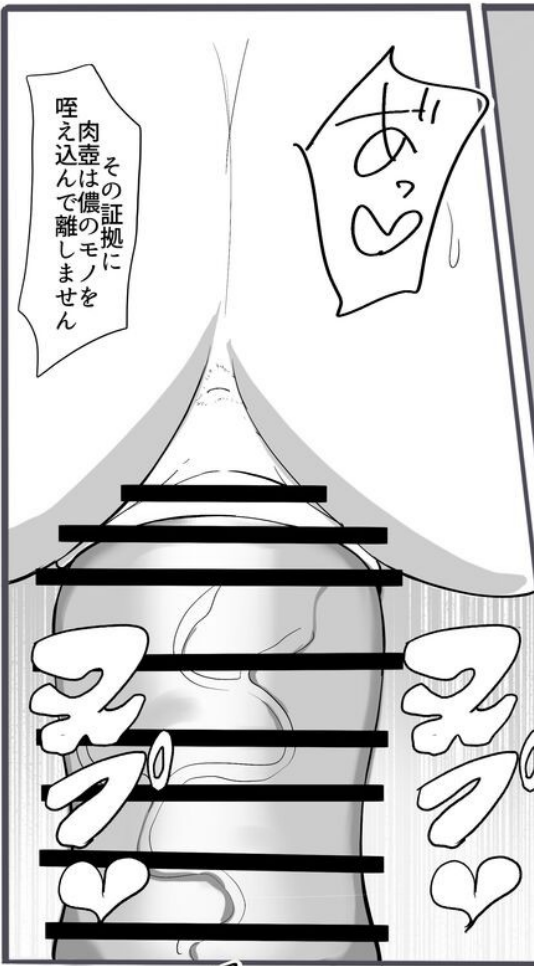


俺の肉棒が
だいぶ馴染んできた
様ですな

ふざけるなっ
な、馴染んでなんかない



誇り高い...名門
桐生院の...鬼...狩り



その証拠に
肉壺は僕のモノを
啜え込んで離しません

あっ♡



当主殿のお体は
既に僕を受け入れております故

ふっふっふっ
隠しても無駄ですよ



所詮メスは
肉悦には抗えませんが！

あっ♡

レハ



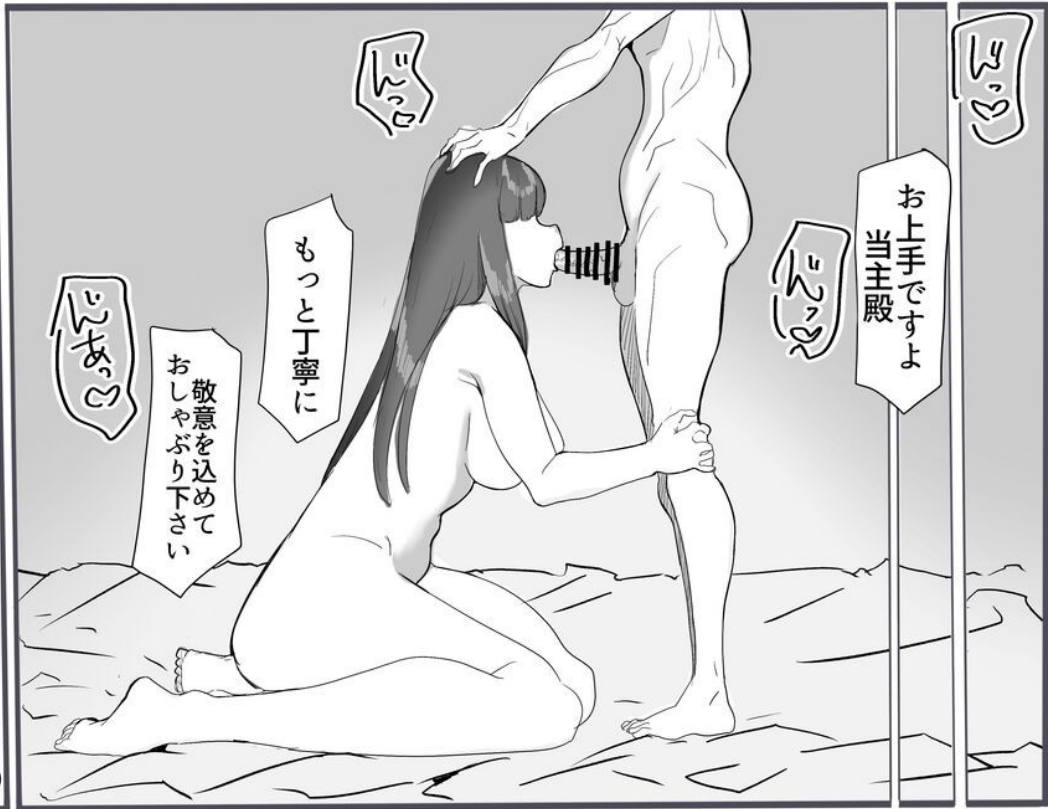
体はすっかり
女に目覚めた様で

あっ♡
あっ♡

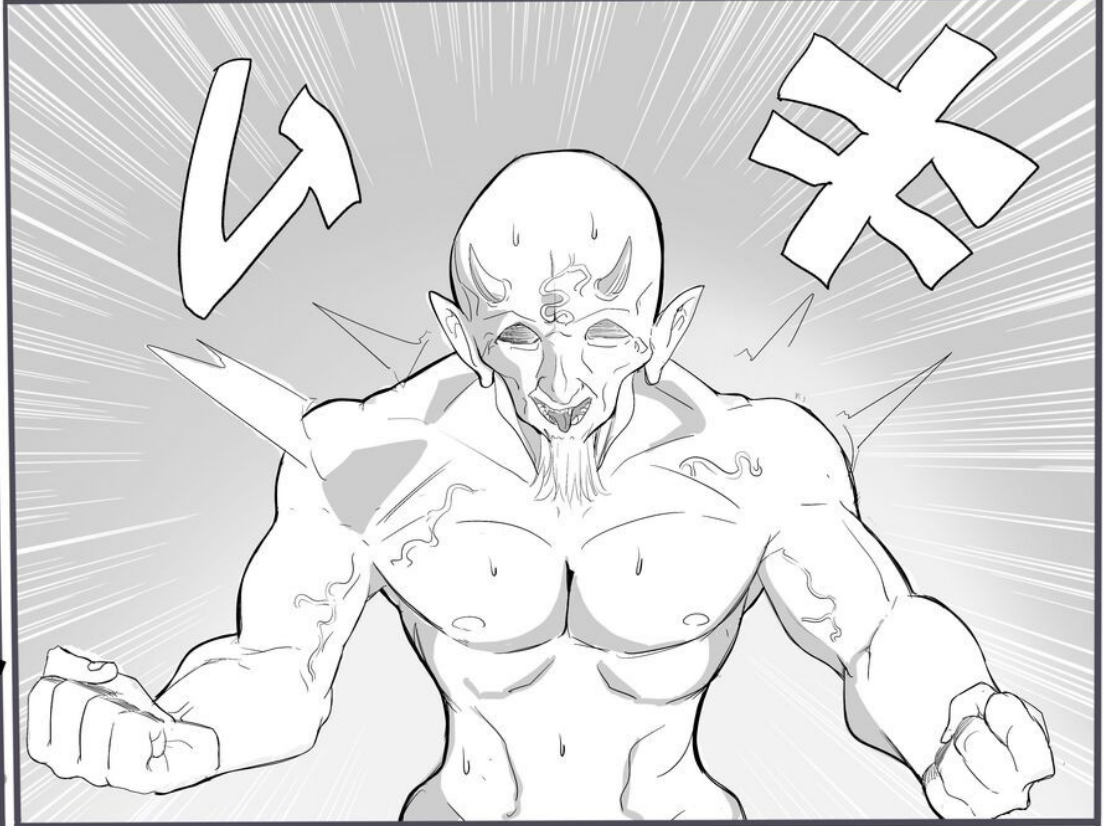
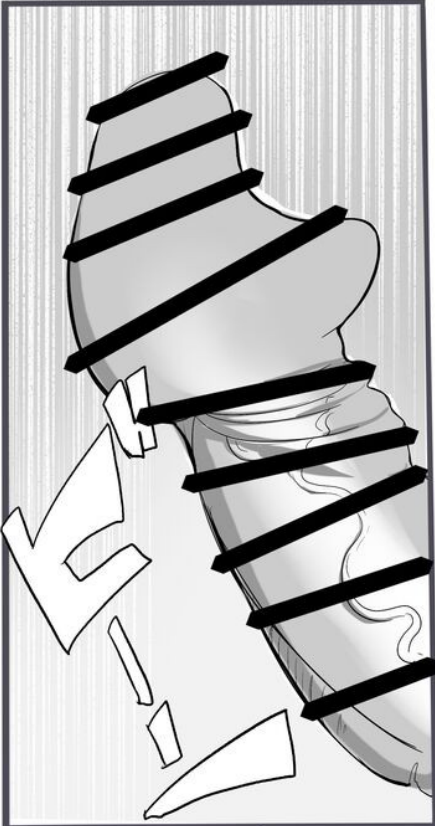
はーい

後は当主殿が
素直になるだけですじゃ。

あっ♡









鬼の子など身籠るものか!

ふざー

ふざー



さぞ優秀な鬼が産まれるだろう

はあ〜

はあ〜

お前ほどの女

はあ〜



刹那!

モミ

フッ

フッ

鬼の孕み袋にしてくれる

逃げる事は出来んぞ!

ドン

ドン

あ

あ



ただなす術なく
老鬼に犯された...

そこからの
記憶は曖昧だ



己を制御する事など
もはや叶わず

目覚めた私の躰は
快楽を欲していた

肉悦に抗う
ことも出来ず



気付けば私は
快楽を求め

獣の如く
自ら腰を振っていた



子宮に打ち付ける様に

力強く下品に

メスの本能の
赴くまま・

オスを求めた



射精ぞ!

セク

セク

子宮で受け止める!



あああ
あああ

何と云う
締め付け♡

しっかり孕めよ
刹那

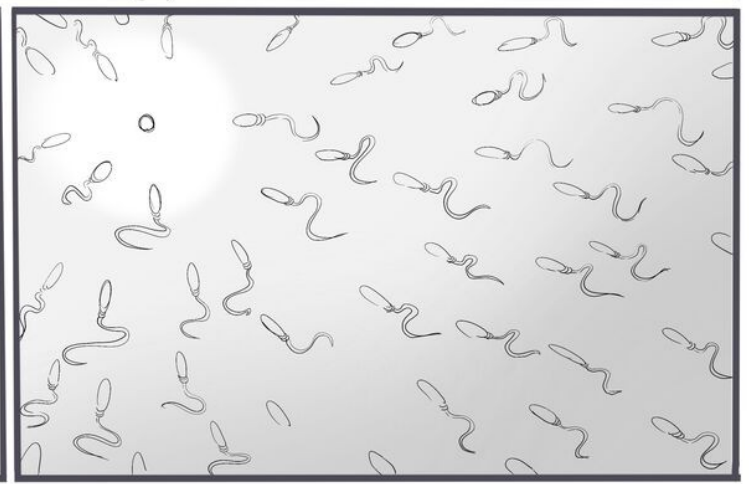
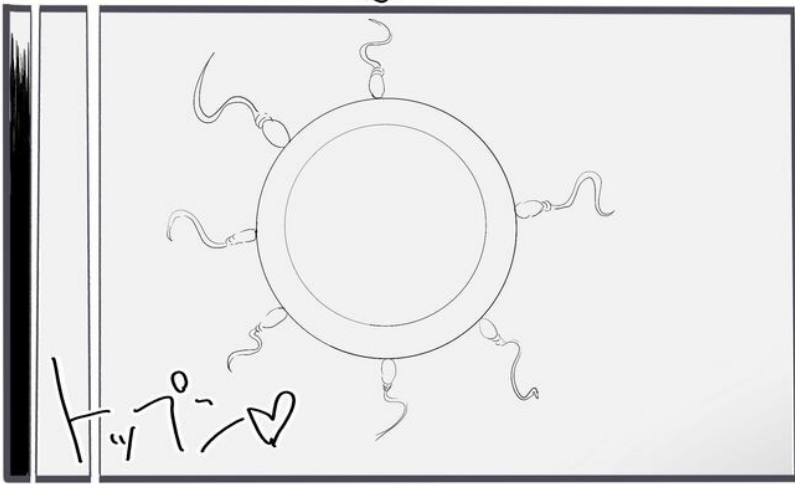
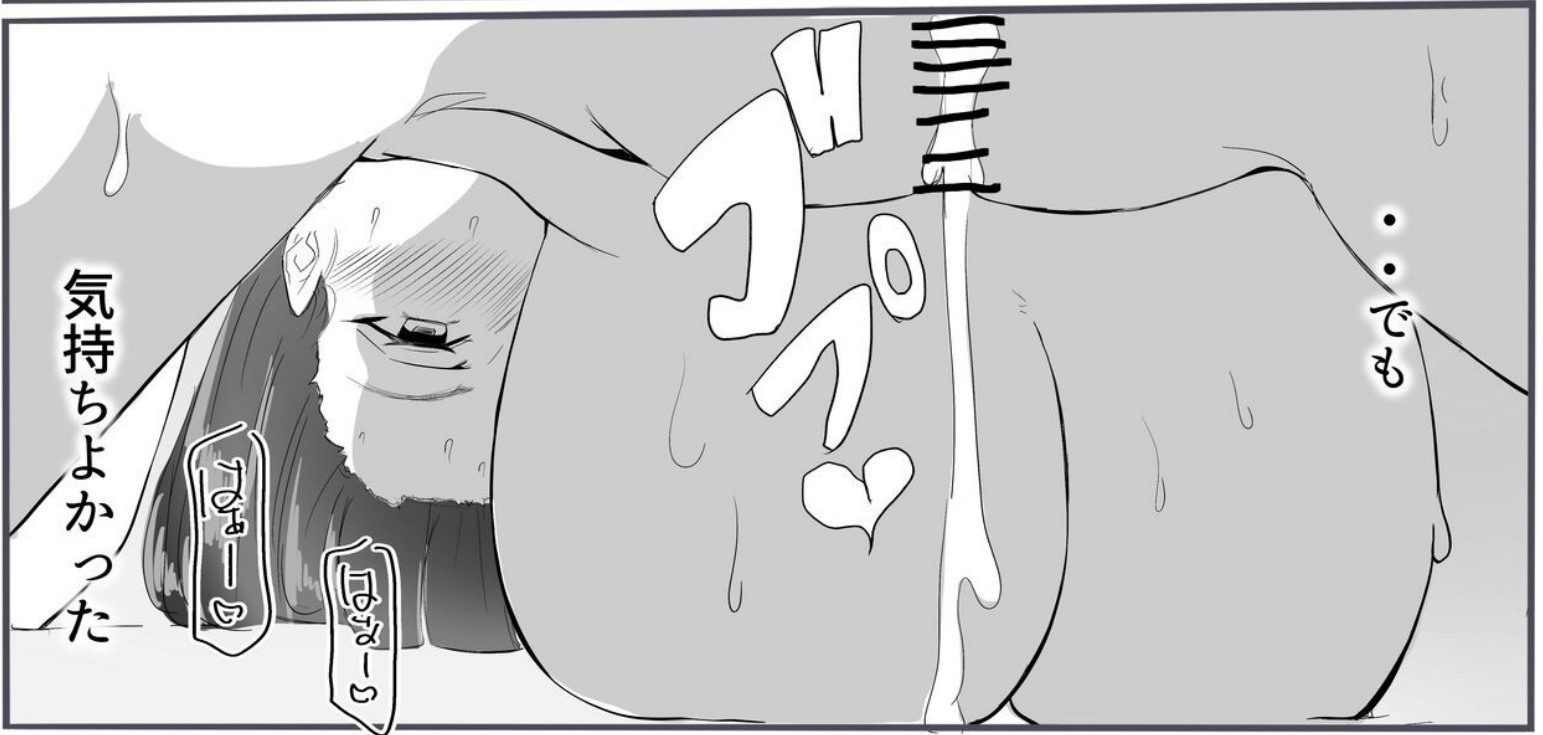
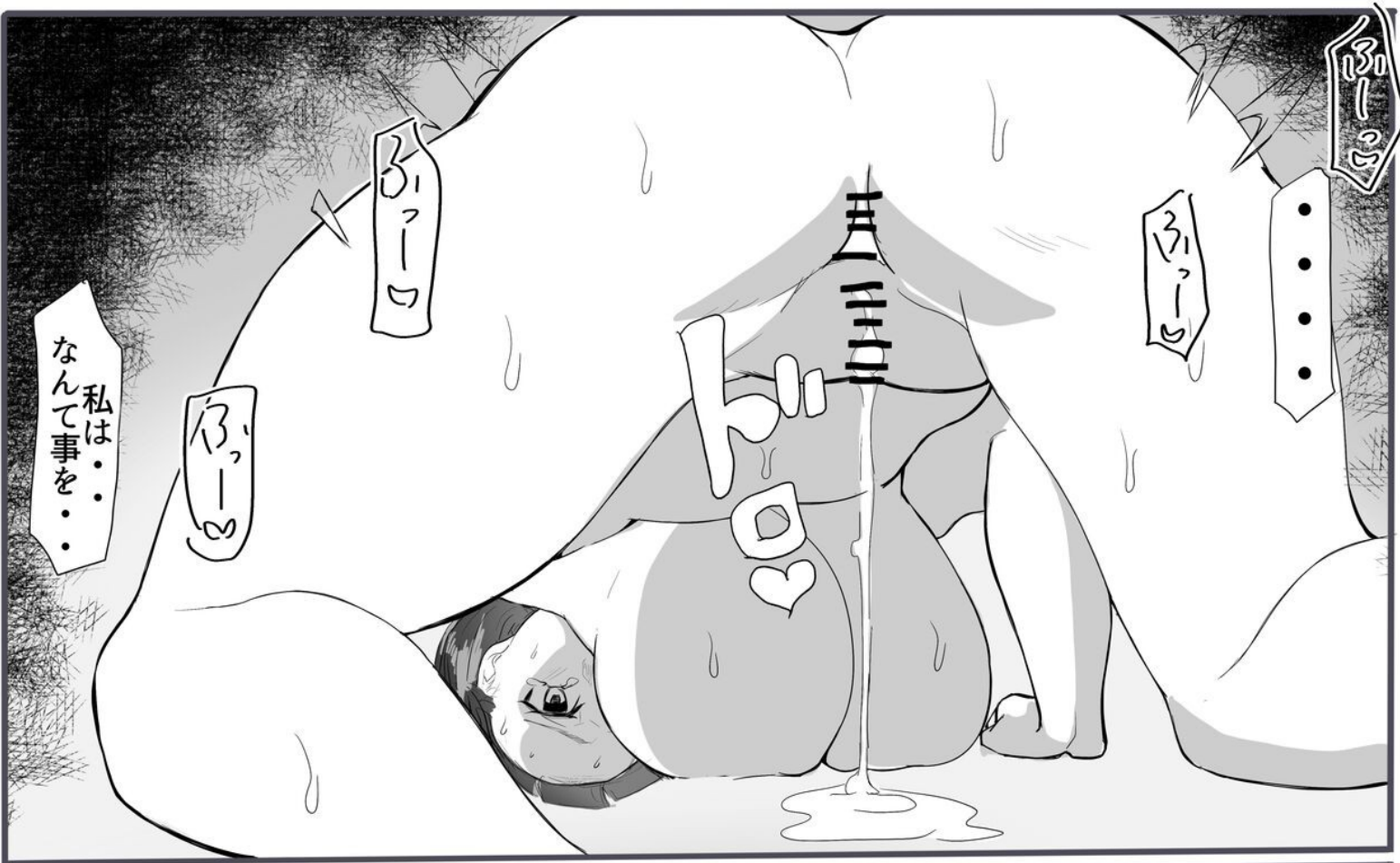


鬼の精子が
あー♡

私の膈内に

あー♡

あー♡

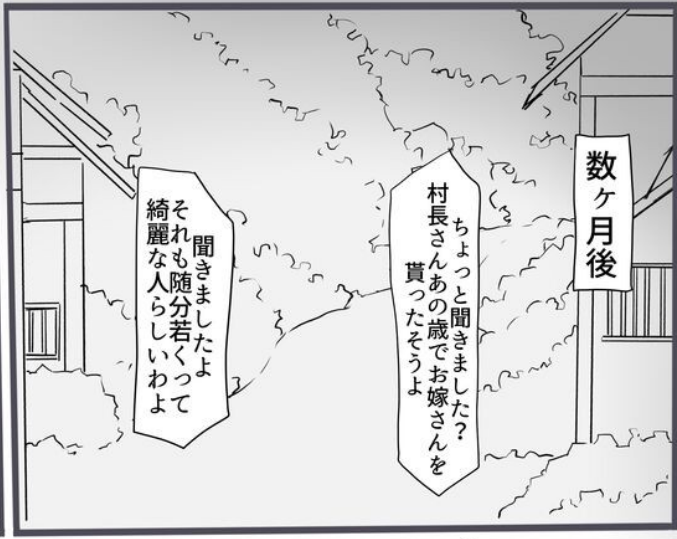




何でもそんな人が
村長さんなんかには

もう引退したらしんだけど
名のある武家の人らしいわ

何でも元鬼狩りの
凄い人みたいで



数ヶ月後

ちよつと聞きましたか？
村長さんあの歳でお嫁さんを
貰ったそうよ

聞きましたよ
それも随分若くって
綺麗な人らしいわよ



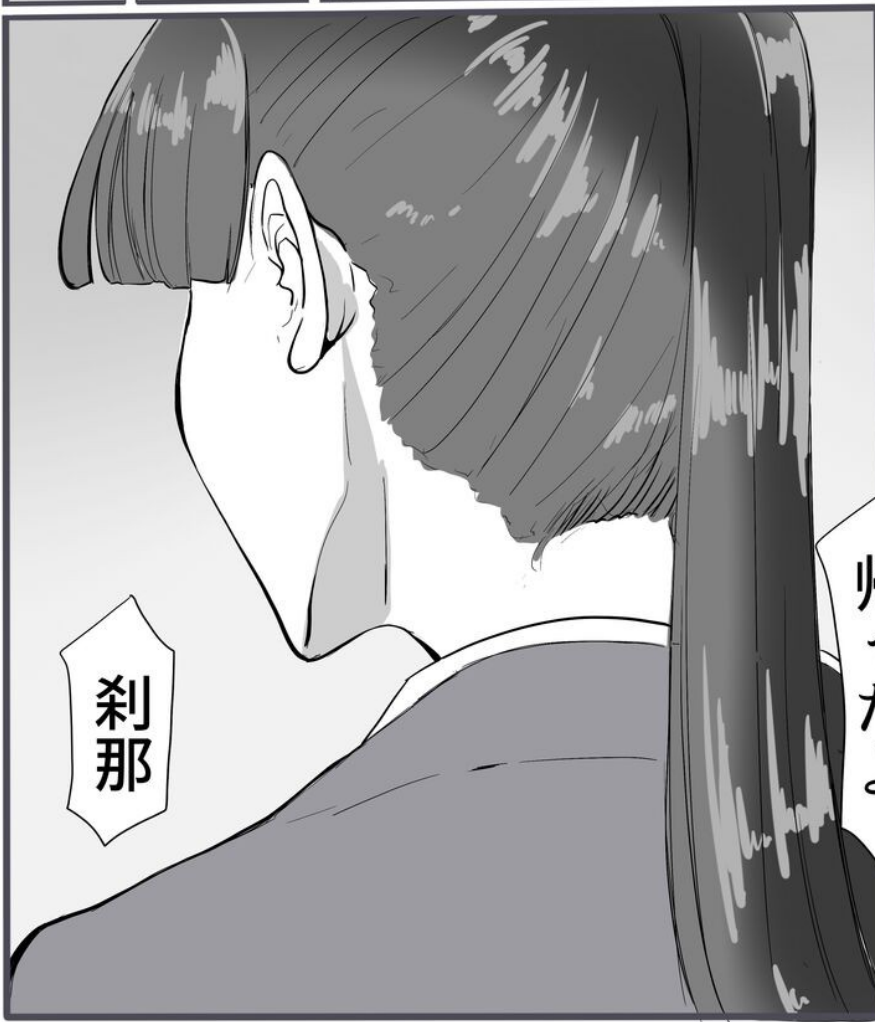
あの歳で
お盛んねえ



しかもお腹も
大きくして

いるみたいよ
赤ちゃんよ

あらやだ
本当に？



刹那



ただいま

帰ったよ



あなた

おかえりなさい

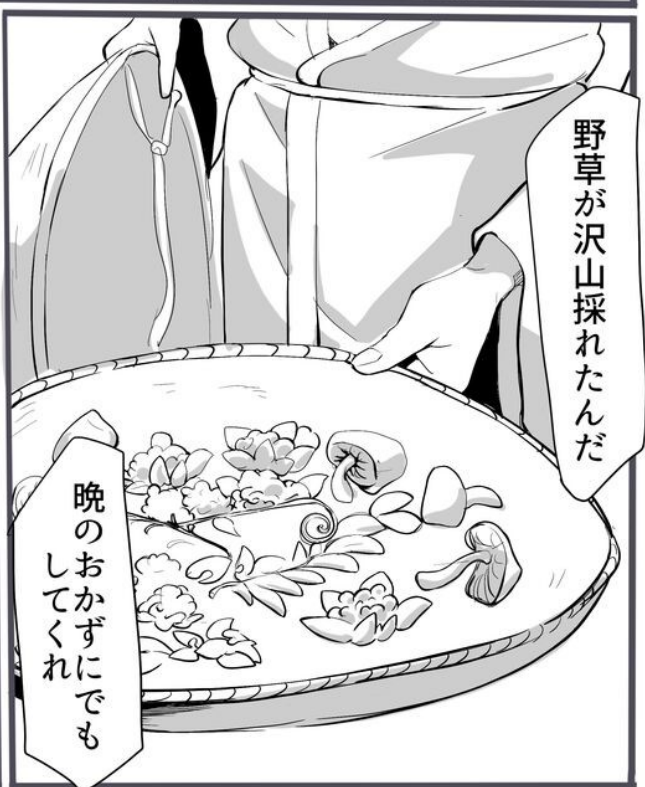


もう時期産まれますから



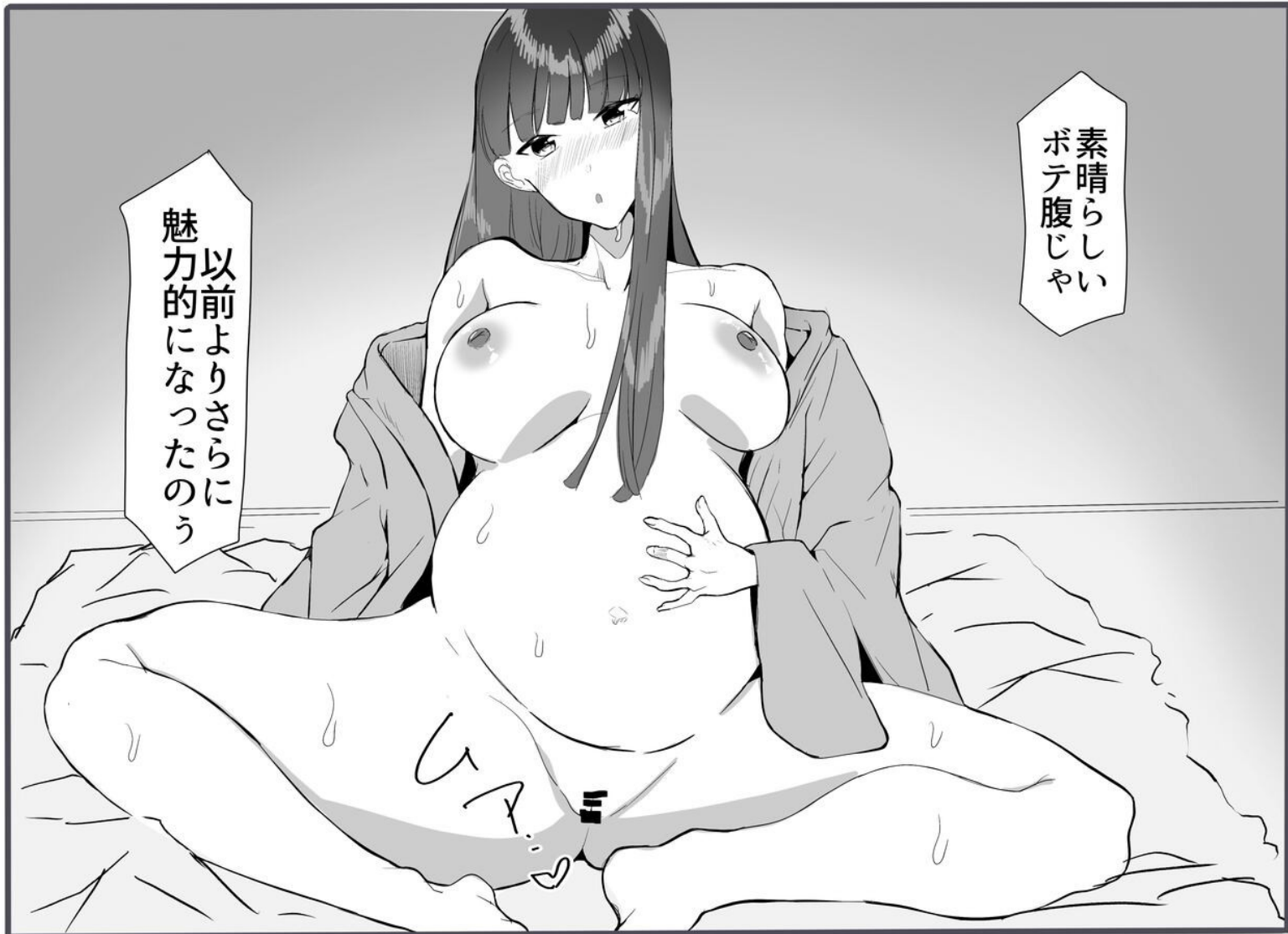
順調ですよ

身体の調子はどうだい？



野草が沢山採れたんだ

晩のおかずにもしてくれ



素晴らし
いボテ腹
じゃ

以前よりさら
に魅力的にな
ったのう



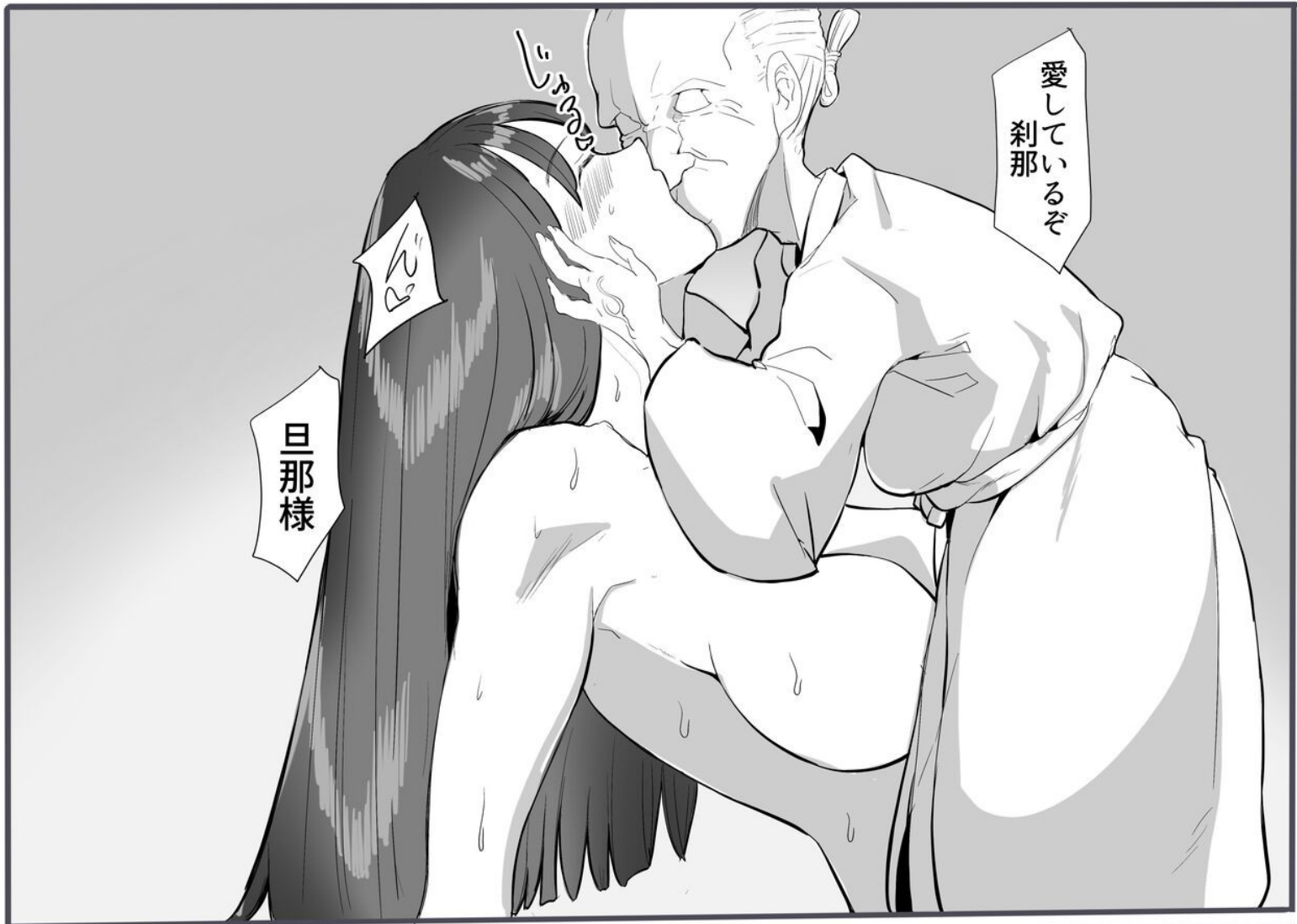
ここで儂と
静かに暮ら
そう

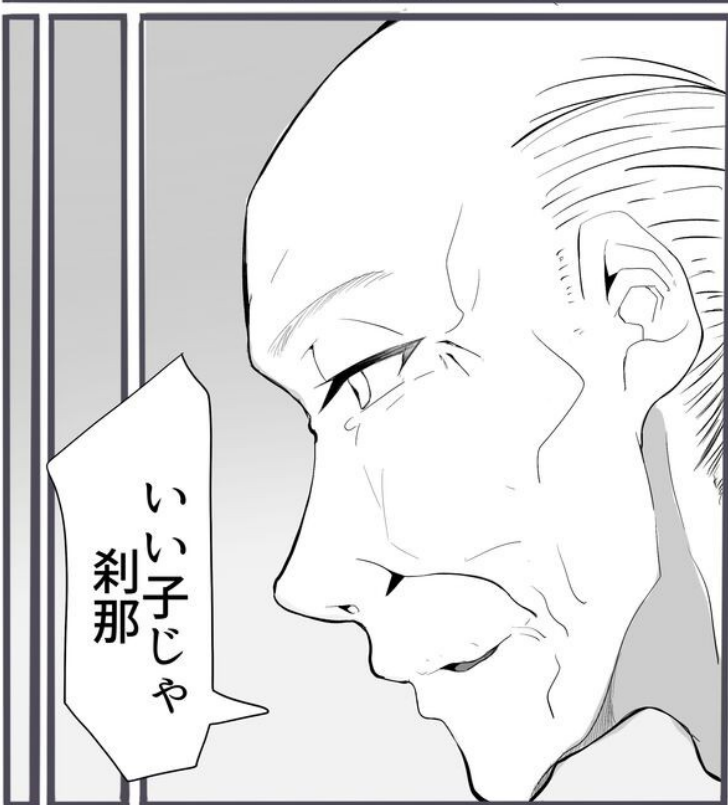
お前は女房
として儂の
そばに居れ
ば良い



刹那お前は
もう儂のモ
ノじゃ

剣を捨て
鬼狩りとは
二度と関
わるなよ





最強の鬼狩りは老鬼の
策略によりただの女となった刹那

肉欲に溺れて
鬼達にその身を
貪られる未来が待っていた

大穴

完



